

# **STAR**

## **自走ミニシングスプレッタ**

### **取扱説明書・部品表**

製品コード	K93085
型式	JXS0510
部品供給型式	JSX0510-03

<b>キャンバスカバーアタッチメント</b>	
製品コード	K93086
型式	ACV0500

**部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。**

**“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。**

---

**スター農機株式会社**



# 安全に作業するために

## 安全に関する警告について

本機には、**▲**印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

### 警告ラベルについて

#### ▲危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

#### ▲警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

#### ▲注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

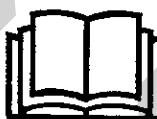
### 警 告

#### 手足入れ厳禁

このカバー内には回転物があります。  
手や足を入れるとけがをします。

部品番号 50320120007

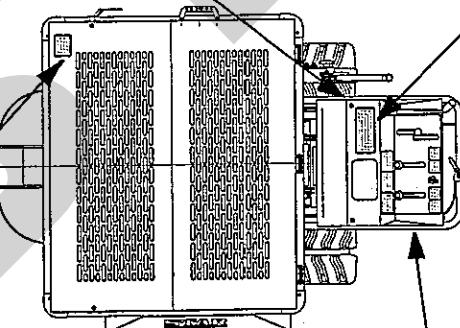
### ▲ 注意



本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。

1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行って下さい。
2. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。子供には運転させないで下さい。
3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
5. 点検や調整をするときは、必ずP T Oなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
7. 他人に本機を貰うときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすすめて下さい。

部品番号 106164



### 警 告

運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをすることがあります。

カバーを開けないで下さい。

部品番号 106169

### 危 険



炎口に火気を近づけると、火災にさる事があります。  
火気を近づけないで下さい。  
炎口にはエンジンガソリンです。

### 警 告



排気の悪い場所で運転すると、  
排気ガスにより中毒になる事  
があります。  
窓や戸等を開け、十分に換気  
をして下さい。

### 注 意



マフラーに触るとヤケドを  
することがあります。  
マフラーには触れないでく  
ださい。

### ▲ 注意

煙を消える時、煙はが飛散し、  
ケガをする事があります。  
煙はえは止めで、煙に直角に  
行って下さい。  
高い煙を吸ふる時は、アニミ  
タ等を使用してください。

### ▲ 注意

積み下ろし用クラッチを操作  
すると、急速に運転が変わり  
速度が落ちる事があります。  
走行クラッチ及びナイドクラ  
ッチを操作しないで下さい。

### ▲ 注意

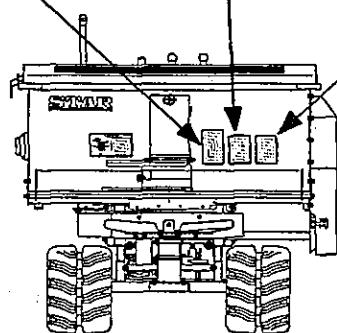
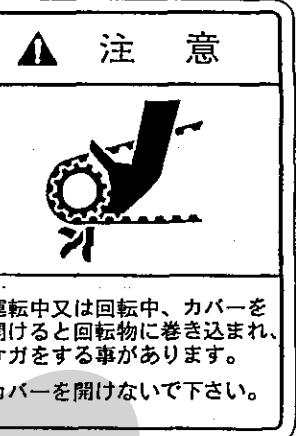
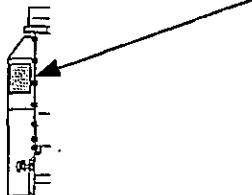
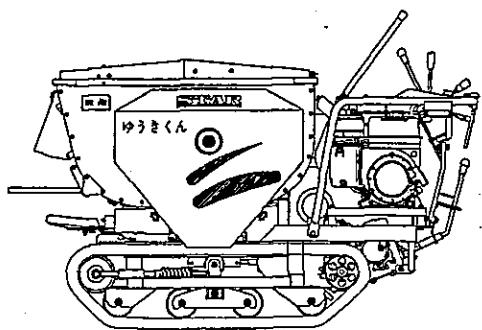
エンジンを始動する時、燃油  
を机にかけ、ケガをする事  
があります。  
駐車ブレーキをかけ、走行ク  
ラッチ・作業クラッチを切っ  
て下さい。

### ▲ 注意

エンジンをかけたまま運転か  
ら離れると、不意に運転が動  
き出しあわぬ事故を起こす事  
があります。  
エンジンを停止し、駐車ブレ  
ーキをかけてください。

部品番号 62806560000

部品番号 B15647



### — ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。  
ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。  
注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

## 安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、本取扱説明書をよくお読みになり、本機を十分に理解をしてからご使用ください。

### 作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

#### ▲ 注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。

取扱説明書は分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

#### ▲ 注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。

作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

#### ▲ 警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

#### ▲ 警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。

次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。

□ 帽子を着用する。

□ はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

#### ▲ 警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。  
取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

#### ▲ 注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。  
機械の改造はしないでください。

アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

#### ▲ 注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。  
作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

燃料を補給する時は

#### ▲ 危険

- 給油口に火気を近づけると、火災になる事があります。  
火気を近づけないでください。  
給油中はエンジンを停止してください。

エンジン始動・発進する時は

#### ▲ 注意

- エンジンを始動する時、機械が急に動いてケガをする事があります。  
駐車ブレーキをかけ、主クラッチ・作業クラッチを切ってから始動してください。
- 作業クラッチを切らないでエンジンを始動すると、急にオーガやスピナーナーが駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。  
作業クラッチを切ってから始動してください。
- 急発進すると、事故を起こす事があります。  
周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

- 換気の悪い場所で運転すると、排気ガスにより中毒になる事があります。  
窓、戸などを開け、十分に換気してください。

#### キャンバスカバーを着脱・調整する時は

##### ▲ 注意

- キャンバスカバーを着脱・調整する時、本機のエンジンをとめずに行うと、第三者の不注意により、不意に本機が動いたりして事故を起こす事があります。  
エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて行ってください。

#### 公道走行禁止

##### ▲ 注意

- 本機は公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。  
一般道路を移動する時は、トラックなどで運んでください。

#### 積み下ろしをする時は

##### ▲ 注意

- 積み下ろし時、クラッチを操作すると、急激に進路が変わり機械が転倒する事があります。  
走行クラッチ及びサイドクラッチを操作しないでください。

#### 移動走行する時は

##### ▲ 注意

- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り飛ばされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。  
急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。  
低速走行してください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こす事があります。  
路肩は走行しないでください。
- 畦を越える時、機械が転倒し、ケガをする事があります。  
畦越えは低速で、畦に直角に行ってください。  
高い畦を越える時は、あゆみ板を使用してください。
- 本機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。  
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。  
本機の上には人や物などはのせないでください。
- 作業クラッチを切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。

移動走行する時は、作業クラッチを切ってください。

- ホッパカバーを開けたまま走行すると、不意にホッパカバーが閉じ、ケガをする事があります。  
移動走行する時は、ホッパカバーを閉じ、ホップロックをかけてください。

#### 作業中は

#### 作業する時は

##### ▲ 警告

- 作業中又は回転中、ホッパカバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
ホッパカバーを開けないでください。
- スピナークラッチを入れたまま取出口から肥料を取り出すと、スピナーに巻き込まれ、ケガをする事があります。  
作業クラッチを切り、スピナークラッチを切った後、取り出し操作をしてください。
- オーガが回転している時、スピナークラッチを「入」にすると急にスピナーが回転し、巻き込まれケガをする事があります。  
オーガが回転している時スピナークラッチを操作しないでください。
- 運転中又は回転中、取出口に手を入れると回転物に接触し、ケガをする事があります。  
手を入れないでください。

##### ▲ 注意

- 運転中又は回転中、スピナーに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。  
周囲に人を近づけないでください。
- 本機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。  
また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。  
本機の上には、人や物などはのせないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。  
低速で作業してください。  
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因になります。  
坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。  
前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。

- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。  
しっかりとハンドルを握って運転してください。
- 換気の悪い場所で運転すると排気ガスにより中毒になる事があります。  
窓や戸等をあけ、十分に換気をしてください。
- 散布作業中、飛散物が当たりケガをすることがあります。  
周囲に人を近づけないでください。
- 運転中や回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
カバーを開けないでください。
- 本機の調整や、付着物の除去などを行う時、作業クラッチおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に本機が動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。  
作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

#### 不調処置・点検・整備をする時

##### ▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、本機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業クラッチおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に本機が動き出して思わぬ事故を起こす事があります。  
作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- マフラーに触れるとヤケドをする事があります。  
マフラーには触れないでください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
元通りに取り付けてください。

#### 本機から離れる時は

##### ▲ 警告

- エンジンをかけたまま本機から離れると、不意に本機が動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。  
エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。

#### 作業が終ったら

#### 機体を清掃する時は

##### ▲ 注意

- 本機の調整や、付着物の除去などを行う時、作業クラッチおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に本機が動きだし、思わぬ事故を起こす事があります。  
作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- マフラーに触れるとヤケドをする事があります。  
マフラーには触れないでください。

#### 終業点検の励行

##### ▲ 注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。  
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

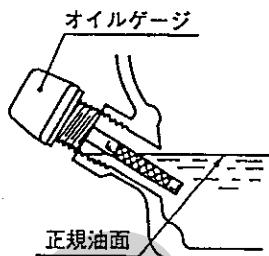
## ○ 初めて使用する前に

初めて使用する前に次のことを行ってください。

### 1. エンジンオイルを点検してください。

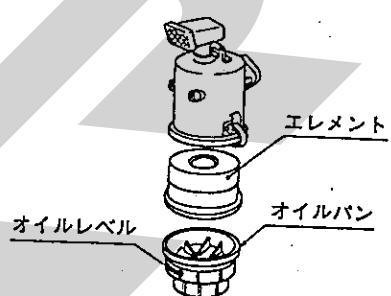
- エンジンオイルが規定量入っているか点検し、少ない場合は正規油面まで補充してください。
- オイルは下記オイルを使用してください。

自動車用 ガソリンエンジンオイル	マルチグレード	10W-30
	シングルグレード	30#



### 2. エアフィルタのオイルを点検してください。

- エアフィルタにオイルが規定量入っているか点検し、少ない場合はオイルレベルまで補充してください。
- オイルはエンジンオイルと同じ物を使用してください。



### 3. 燃料の量を点検してください。

- 燃料タンクに燃料が入っているか、燃料ゲージにて点検し、少ない場合は補給してください。
- 燃料タンクに注入する時はあふれさせないようにしてください。
- 燃料は自動車用無鉛ガソリンを使用してください。

#### ▲ 危険

- 給油口に火気を近づけると火災になることがあります。  
火気を近づけないでください。  
給油中はエンジンを停止してください。

# もくじ

## A 安全に作業するため

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	5
作業前に	3	不調処置・点検・整備をする時	5
作業中は	4		

## ○ 初めて使用する前に 6

## 1 各部の名称と運転

1 各部の名称とはたらき	9	2 運転の仕方	11
--------------	---	---------	----

## 2 運転を始める前の点検

1 本機の点検	13	3 給油箇所一覧表	13
2 エンジンの点検	13		

## 3 運搬の仕方

1 積み込み方	14	2 降ろし方	14
---------	----	--------	----

## 4 作業の仕方

1 本作業機の使用目的	15	3 作業要領	16
2 作業のための調整	15	1. 最大積載量	16
1. スピンナーブレードの調整	15	2. ホッパカバーの開閉の仕方	16
2. 肥料別のボトムプレートの位置調整	15	3. 肥料混合の仕方	17

## 5 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	20	2 長期格納する時	20
-----------	----	-----------	----

## 6 点検と整備について

1 点検整備一覧表	21	2 各部の調整	21
-----------	----	---------	----

## 7 不調時の対応

1 不調処置一覧表	24
-----------	----

## 8 オプション

1 キャンバスカバー・アタッチメント	25
--------------------	----

## 9 部品表

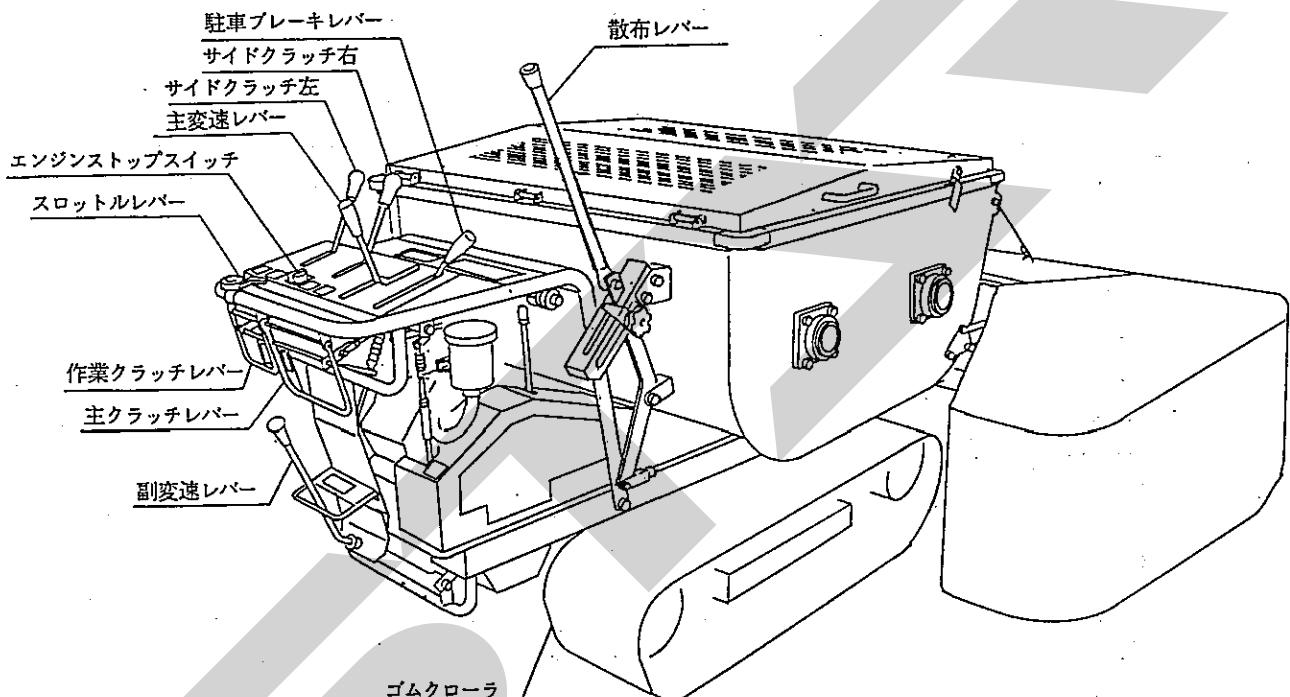
28

# 1 各部の名称と運転

適切な装着で安全な運転をしましょう。

## 1 各部の名称とはたらき

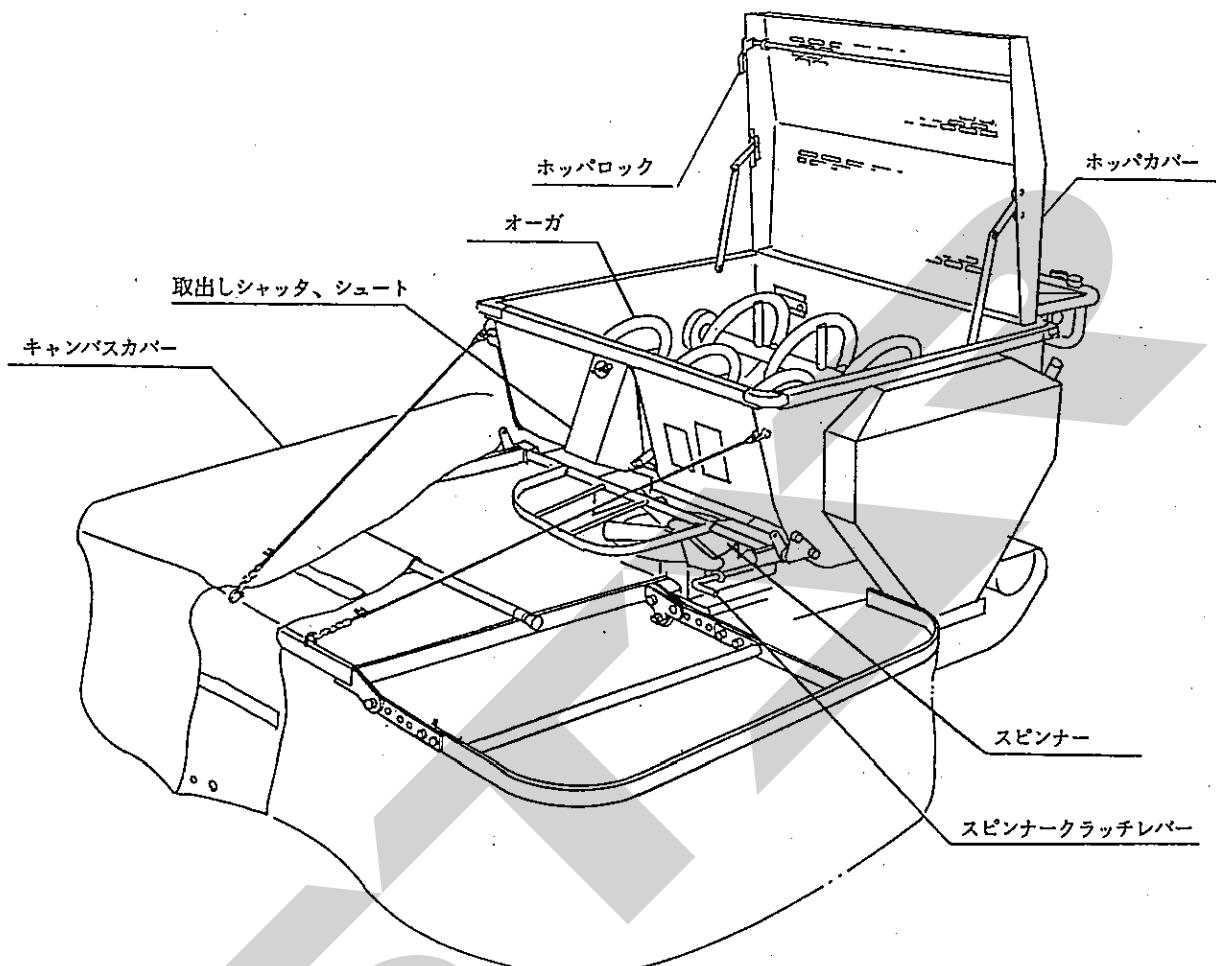
### 1. 足 回 り



- (1) 主変速レバー  
本機を前後に走行、停止させる時に使用します。
- (2) 副変速レバー  
低速、高速の2段の走行速度を選択します。
- (3) サイドクラッチレバー [右、左]  
本機を旋回させる時に使用します。  
右へ旋回する時は右を、左に旋回する時は左のレバーを手前へ引きます。
- (4) 駐車ブレーキレバー  
本機を駐車させる時に使用します。
- (5) スロットルレバー  
エンジンの回転数を調整します。

- (6) 主クラッチレバー  
本機を走行可能状態にする時に使用します。
- (7) 作業クラッチレバー  
オーガおよびスピナーナーを回転、または停止させます。
- (8) エンジンストップスイッチ  
エンジンを始動する時、停止する時に使用します。
- (9) ゴムクローラ  
ゴム製の走行覆帯

## 2. 作業部



- (1) スピナーラッチレバー  
スピナーハへの動力の入り切りに使用します。
- (2) 散布レバー  
肥料の散布開始および終了をこのレバーの押し引きによりおこないます。
- (3) 取出しシャッタ、シート  
混合した肥料などを取出すときに使用します。
- (4) ホッパカバー  
作業中の安全のためにホッパを覆うカバー

- (5) ホッパロック  
ホッパカバーの開閉とロックに使用します。
- (6) キャンバスカバー (オプション)  
肥料の飛散を防止し、散布幅の調整に使用します。
- (7) オーガ  
肥料の混合を行います。
- (8) スピナーハ  
回転する羽根により肥料を散布します。

## 2 運転の仕方

エンジンに付属された取扱説明書を熟読の上、エンジンを操作してください。

### ▲ 注意

- エンジンを始動する時、機械が急に動いてケガをすることがあります。  
駐車ブレーキをかけ、主クラッチ・作業クラッチを切ってください。
- 作業クラッチを切らないでエンジンを始動すると、急にオーナーがスピンナが駆動され、周囲にいる人がケガをすることがあります。  
作業クラッチを切ってから始動してください。
- 急発進すると、事故を起こすことがあります。  
周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。
- 換気の悪い場所で運転すると、排気ガスにより中毒になることがあります。  
窓や戸などをあけ、十分に換気をしてください。

### 1. 走行の仕方

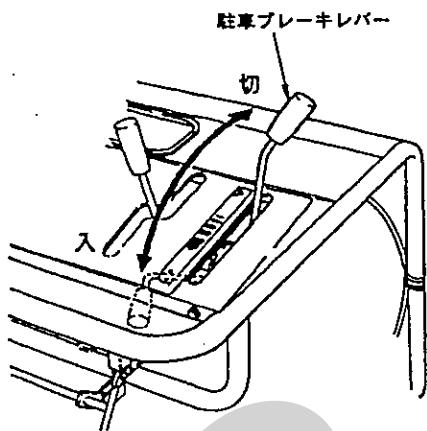
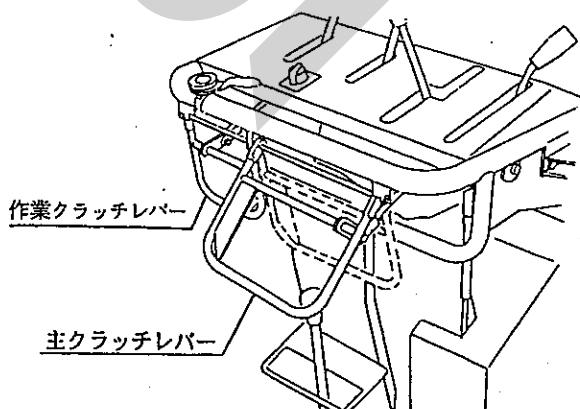
- (1) 燃料の量を点検し、少ない場合は自動車用無鉛ガソリンを補給してください。

### ▲ 危険

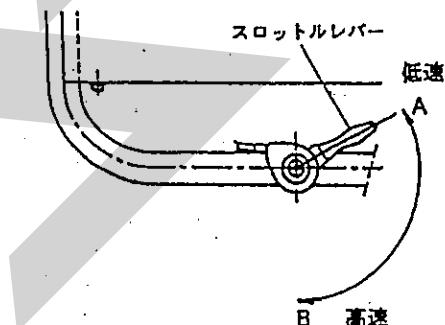
- 給油口に火気を近づけると火災になることがあります。  
火気を近づけないでください。  
給油中はエンジンを停止してください。

- (2) エンジンの燃料コックを“ON”「開」の位置にします。(エンジン取説参照)

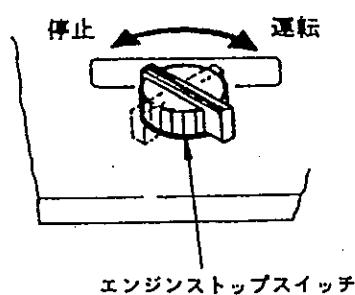
- (3) 主クラッチレバー及び作業クラッチレバーを「切」の位置に、駐車ブレーキレバーを「入」の位置にします。



- (4) チョークレバーを引きスロットルレバーを中回転程度の位置にします。  
(エンジンが暖まっている場合は、チョークレバーはあまり使用しない…エンジン取説参照)



- (5) エンジンストップスイッチを「運転」の位置にします。



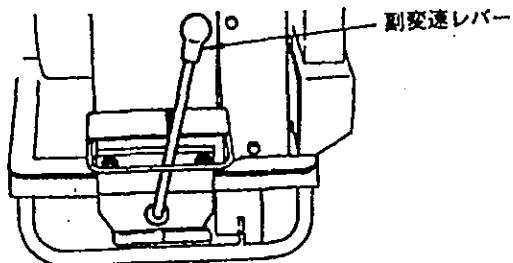
- (6) エンジンのリコイルスタータを勢いよく引きます。(エンジン取説参照)

- (7) エンジンが始動したらチョークレバーをもとに戻し、スロットルレバーを低回転側へ動かし暖気運転します。

エンジンが暖まっていないと、エンジンがとまってしまうことがあるので暖まってからチョークレバーを戻してください。(エンジン取説参照)

- (8) スロットルレバーを中回転程度まで回し、エンジンの回転数を上げます。

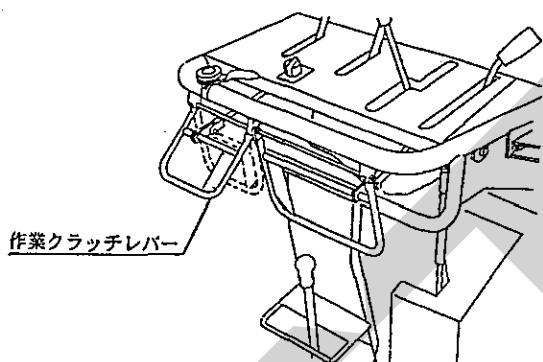
(9) 副変速レバーで希望の位置に変速します。



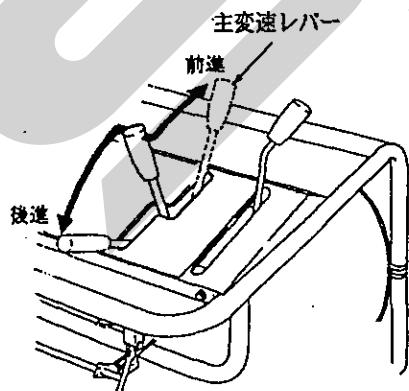
(10) 駐車ブレーキレバーを「切」の位置にします。

(11) 主クラッチレバーをゆっくりと「入」の位置にします。

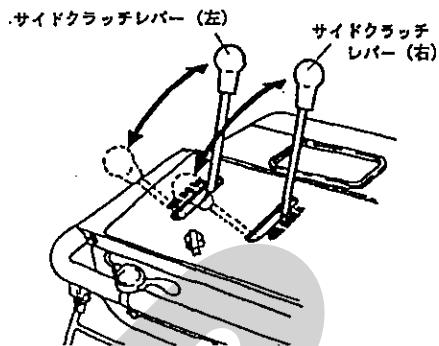
(12) 作業クラッチレバーをゆっくりと「入」の位置にすると、オーガおよびスピナーナーが回転します。



(13) 主変速レバーをゆっくりと前進側もしくは後進側に倒すと本機が走行します。



(14) 右のサイドクラッチレバーを手前に引けば右旋回となり、左のレバーを手前に引けば左旋回となります。



[ 作業速度 ] 単位 km/h (1800rpm)

副変速	低速				高速			
	1	2	3	4	1	2	3	4
主変速	1	2	3	4	1	2	3	4
前進	0.4	0.9	1.3	1.8	1.0	2.0	3.0	4.0
後退	0.4	0.9	1.3	1.6	1.0	2.0	3.0	3.6

※ 作業速度は使用条件により異なります。

## 2. 停止の仕方

- (1) 主変速レバーを「停止」の位置にし、本機の走行を停止します。
- (2) 作業クラッチレバーを「切」の位置にします。
- (3) 主クラッチレバーを「切」の位置にします。
- (4) スロットルレバーを低回転側へ動かします。
- (5) 駐車ブレーキレバーを「入」の位置にします。
- (6) エンジンストップスイッチを「停止」の位置にし、エンジンを停止させます。
- (7) エンジンの燃料コックを“OFF”「閉」の位置にします。(エンジン取説参照)

## 2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行ないましょう

### 1 本機の点検

「6-1 点検整備一覧表」に基づき始業点検を行ってください。

### 2 エンジン始動での点検

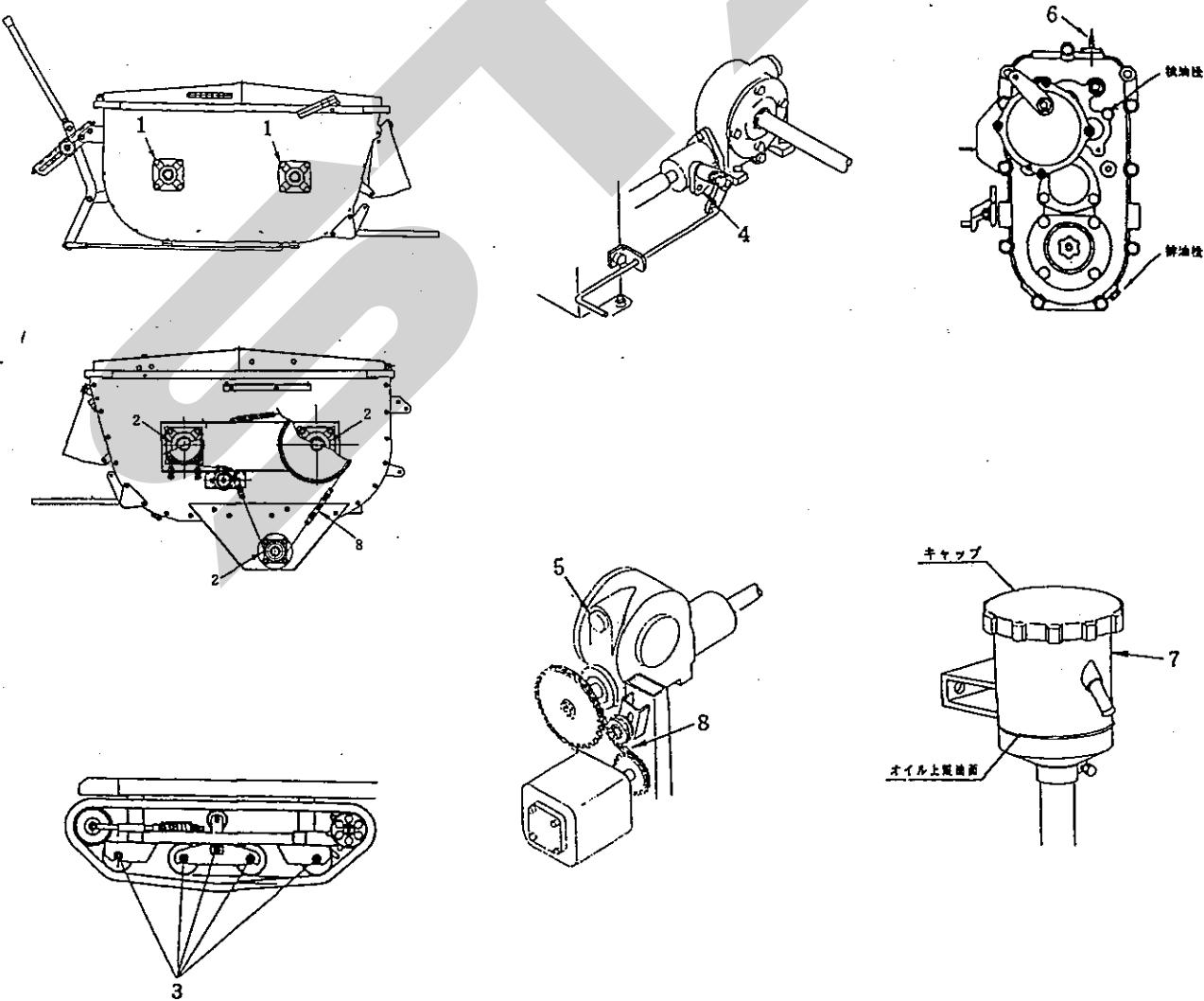
エンジンに付属された取扱説明書に基づきエンジン運転前の点検を行ってください。

#### ▲注意

- エンジンを始動する時、機械が急に動いてケガをすることがあります。  
駐車ブレーキをかけ、主クラッチ・作業クラッチを切ってから始動してください。

### 3 給油箇所一覧表

- 給油・塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。
- 排出された古いグリースは拭き取ってください。



No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	オーガ軸受 従動側	2	グリース	使用毎	適量	給脂
2	オーガ軸受 駆動側	3	"	"	"	"
3	足回り遊動輪 左右	各5	"	"	"	"
4	スピンドルクラッチ	1	オイル	"	"	注油
5	ウォームボックス	1	ギヤオイル #90	使用開始50時間 その後シーズン毎	0.3ℓ	給油
6	ミッション	1	"	"	2.5ℓ	"
7	H S T オイル	1	自動車用ディーゼルエンジンオイルマルチグレードCD 10W-30	適時	オイル上限 油面まで	"
8	ローラーチェーン	2	オイル	使用毎	適量	塗布

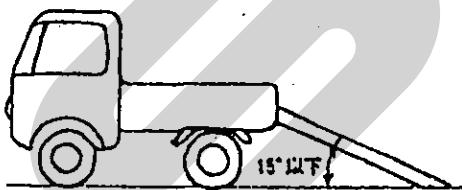
### 3. 運搬の仕方

#### ▲注意

- 積み下ろし時、クラッチを操作すると、急激に進路が変わり機械が転倒する事があります。走行クラッチ及びサイドクラッチを操作しないでください。

本機の運転は、本機の寸法および重量の積載を満足する運搬機（トラック等）を使用してください。

積込用のアルミニウム板は、積載荷重が0.5t以上で、本機の傾斜が15°以下となる長さ（荷台の高さの4倍以上）で幅30cm以上のものを使用してください。



#### 1 積み込み方

1. アルミニウム板のセット幅は、アルミニウム板の幅方向の中心を本機のクローラー中心に会うように運搬機にかけます。この時、アルミニウム板が運搬機荷台から外れないことを確認してください。
2. 本機をアルミニウム板に平行となるよう、低速で走行させます。
3. 本機をアルミニウム板に載せてから運搬機に完全にのるまでは、本機の走行速度は低速で走行してください。

4. 本機が運搬機に上がる瞬間が、本機のバランスが一番不安定となるため、十分注意が必要です。
5. 本機が運搬機に完全に載ったら走行を停止してください。
6. 本機が運搬荷台上で移動しないようしっかりと固定してください。
7. 運搬機で本機の希望のところまで運搬します。

#### 2 降ろし方

1. 本機と運搬機とを固定していたロープを取り外し、アルミニウム板を「3-1 積み込み方」の(1)のようにセットします。
2. エンジンを始動させます。
3. 本機をアルミニウム板に平行となるよう、低速で走行させます。
4. 本機をアルミニウム板に載せてから地面に完全にのるまでは、本機の走行速度は低速で走行してください。
5. 本機が運搬機からアルミニウム板にのる瞬間が本機のバランスが一番不安定となるため、十分注意が必要です。
6. 本機が地面に完全にのったら、走行を停止します。
7. エンジンストップスイッチを「停止」の位置にしてエンジンを停止させます。

## 4 作業の仕方

### 1 本製品の使用目的

本製品は含水率 58%以下の有機肥料、化成肥料の混合および散布に使用します。  
他の用途には使用しないでください。

#### 取扱い上の注意

肥料中に石・木片・氷塊・ヒモなどが混入していると、本機の破損原因となる事があります。  
混入しないように日常から管理してください。

### 2 作業のための調整

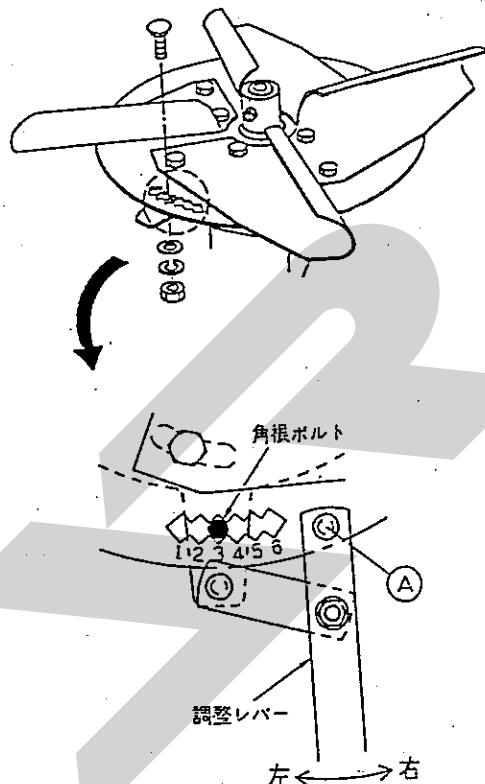
#### 1. スピナーブレードの調整

肥料の種類、水分により散布に片寄りが発生する事があります。

その場合は、スピナーブレードの取付角度を調節してください。

- (1) スピナーブレードの位置決めをしている角根ボルトを取り外してください。
- (2) 付属の調整レバーを取り付けてください。
- (3) 前進方向に対して散布が左に片寄る場合は、調整レバーを左へ、右へ片寄る場合は右へ、A点を中心にしてレバーを回してください。
- (4) 角根ボルト、ナットを固定してください。
- (5) 表の調整位置を目安にして散布の片寄りを調整してください。

調節位置	1	2	3	4	5	6
肥料	化成・粉			有機肥料		



#### 2. 肥料別のボトムプレートの位置調整

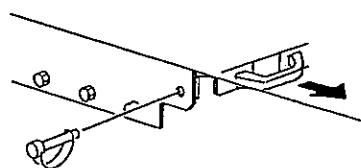
肥料の種類、水分により散布特性や落下量が異なります。

本機はボトムプレートをスライドさせる事により有機肥料用と化成肥料の落下口を選択できます。

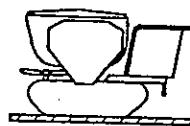
- ・含水率 58%以下の有機肥料はAの位置にセットしてください。
- ・有機肥料の中でも低水分の物は進行方向左に散布が片寄る場合があります。
- ・その場合はBの位置にセットしてください。
- ・化成肥料のみの散布を行なう場合はCの位置にセットしてください。

- (1) ボトムプレートを固定しているデルタピンを外します。
- (2) 取っ手を握り肥料に適した落下口の位置にボトムプレートをスライドさせます。
- (3) ボトムプレートの固定穴にデルタピンを差し込み、しっかりと固定してください。

Ⓐ



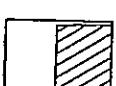
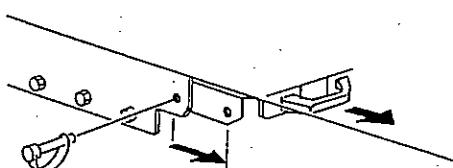
## 1. 最大積載量



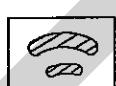
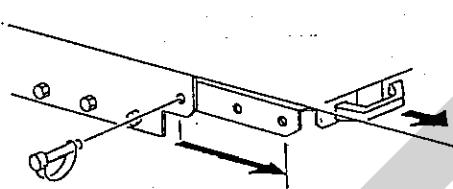
平坦地では  
500kgまで

15°までの傾斜地では  
400kgまで

Ⓑ



Ⓒ



## 2. ホッパカバーの開閉の仕方

### ▲警告

- 運転中又は回転中、ホッパカバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。ホッパカバーを開けないでください。

### ▲注意

- ホッパカバーを開けたまま走行すると、不意にホッパカバーが閉じ、ケガをする事があります。移動走行する時は、ホッパカバーを閉じ、ホッパロックをかけてください。

### [開くとき]

- 右手はグリップ①を、左手はグリップ②をしっかりと握ります。
- 右手でグリップ①をロック解除方向に動かし、ロックを解除します。
- ステーがホッパカバーをささえる位置まで両手で持ち上げる様にホッパカバーを確実に開いてください。

### [閉じるとき]

閉じるときは開くときと逆の手順で行なってください。

ホッパカバーをしっかりとロックしてください。

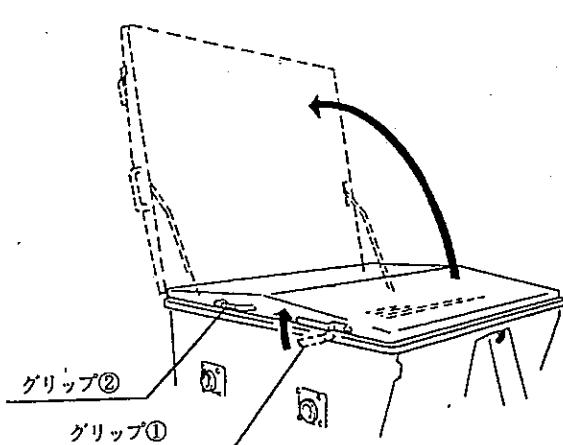
## 3 作業要領

### ▲警告

- 運転中又は回転中、スピナーナーに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。

### ▲注意

- 換気の悪い場所で運転すると、排気ガスにより中毒になることがあります。窓や戸などをあけ、十分に換気をしてください。
- 散布作業中、飛散物が当り、ケガをすることがあります。周囲に人を近づけないでください。
- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、作業クラッチ及びエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。



### 3. 肥料混合の仕方

#### (1) 肥料混合の可否について

肥料は原料となる単肥の性質によって、混合してよいもの、混合したらすぐに用いるもの、混合してはいけないものがあります。

必ず肥料混合可否表を参考にして、適正な肥料の混合を行なってください。

混合の可否が不明な場合は、肥料メーカーに安全性を確認してから混合してください。

肥料混合表 (前田正男『肥料便覧・第1版』農文協)

	硫 塩 硝 尿 石 灰 チ ッ ソ	過 熔 苦 重 土 燒 リ 過 リ 石 ヌ 石 ヌ	硫 塩 草 酸 化 木 力 力 リ リ 灰	魚 骨 鷄 堆 緑 肥 き ・ フ ゆ 油 ラ 力 肥 肥 ス 粉 肥 肥	生 消 炭 硫 水 炭 ケ 酸 酸 イ 石 石 力 化 苦 苦 力
硫 塩 硝 尿 石 灰 チ ッ ソ	安 安 安 安 ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ○ ▲ ▲ ▲ × × × ×	○ × ○ ○ ▲ × ▲ ○ ▲ × ▲ ▲ ▲ ○ ▲ ○ × ○ × ▲	○ ○ × ▲ ▲ × ▲ ▲ × ▲ ▲ × ▲ ▲ ○	○ ○ ▲ ▲ ▲ ○ ○ ▲ ▲ ▲ × ▲ × × × ▲ ○ ▲ ▲ ▲ ○ ○ ○ ▲ ○	× × ▲ ○ × × × × × ▲ ▲ × × × × × ▲ ▲ × × × ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ○ ○ ○ × ○ ○ ○
過 熔 リ 苦 土 過 石 重 燧 リ 燒 リ ン	石 ヌ ○ ▲ ▲ ▲ × × × × ○ ○ ○ ▲ ▲ ▲ × ○ ○ ▲ ○ ▲	▲ ○ ○ ▲ × ○ ○ × ○ ○ ○ ○	○ ▲ × ○ ○ ○ ○ ▲ × ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ▲ ▲ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	× × ▲ ○ × × × ▲ ○ ○ ○ ○ ○ ○ × × ▲ ○ × × × ▲ ▲ ▲ ○ ▲ ▲ ▲
硫 酸 力 塩 化 力 草 木 灰	リ リ ○ ▲ ▲ ▲ ▲ ○ ▲ ▲ ▲ ▲ × × × ▲ ○	○ ○ ○ ○ ▲ ○ ▲ ○ × ○ × ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ▲ ▲ ○	▲ ○ ○ ○ ○ ○ ▲ ▲ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
魚 肥 ・ 油 力 骨 肥 ・ 粉 肥 鷄 肥 ・ フ ネ 堆 肥 ・ き ゆ 綠 肥	ス 粉 フ ン 緑 ○ ○ × ▲ ○ ○ ○ ▲ ○ ○ ▲ ▲ × ▲ ○ ▲ ▲ × ▲ ▲ ▲ ▲ × ▲ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ▲ ○ ○ ○ ▲ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ▲ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ▲ ○ ○ ○ ○ ○ × ▲ ○ ○ ▲ ▲ ▲ × × ▲ ○ × × × ○ ○ ○ ○ ○ ○
生 石 灰 消 石 灰 炭 力 硫 酸 苦 水 酸 化 苦 炭 酸 苦 ケイカル	石 灰 炭 硫 水 炭 ケイ × × × ▲ ○ × × × ▲ ○ ▲ ▲ ▲ ▲ ○ ○ ▲ ▲ ▲ × × × × ▲ ○ × × × ▲ ○ × × × ▲ ○	× ▲ × ▲ × ○ × ▲ ▲ ○ ▲ ▲ ○ ○ ○ ○ × ○ × ▲ × ○ × ▲ × ○ × ▲	▲ ▲ ○ ○ ▲ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ▲ × × ○ ○ ○ ▲ × ○ ○ ○ ○ ▲ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ▲ × ○ ○ ○ ▲ × ○ ○ ○ ▲ × ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

注 ○印：混合してよいもの、▲印：混合したらすぐ用いるもの、×印：配合してはならないもの

(2) シャッタ開度と散布量

シャッタ開度と散布量の関係は下記の通りです。

肥料の種類と希望散布量から、シャッタ開度とトラクタの車速を決め作業してください。

表の散布量は目安ですので、正確な散布量が必要な場合は試験散布を行なってください。

		散布量の目安 (kg/10a)							
		化成肥料				低水分有機肥料			
キヤンバスタツチ	作業速度 シャッタ開度	散布幅 2.5m				散布幅 2.5m			
		1km/h	2km/h	3km/h	4km/h	1km/h	2km/h	3km/h	4km/h
キャンバスアタツチ	1	30	15	10	10	60	30	15	5
	2	75	40	25	20	215	110	70	55
	3	120	60	40	30	470	235	155	120
	4	165	80	55	40	820	410	275	205
	5	210	105	70	50	1265	630	420	315
	6	250	125	85	65	-	-	-	-
	7	280	140	95	70	-	-	-	-
スピナーディス	作業速度 シャッタ開度	有効散布幅 7m				有効散布幅 5m			
	1	10	5	5	5	30	15	5	5
	2	25	15	10	5	110	55	35	25
	3	45	20	15	10	235	120	80	60
	4	60	30	20	15	410	205	135	100
	5	75	35	25	20	630	315	210	160
	6	90	45	30	20	-	-	-	-
	7	100	50	35	25	-	-	-	-

化成肥料

エーコープ苦土尿素入り複合焼加安472

窒素 - 磷酸 - 加里 : 14% - 17% - 12%

(菱北化成株式会社)

低水分有機肥料

ぐみあいCDU尿素有機入り配合肥料S839

高度化成内容

窒素 - 磷酸 - 加里 : 8% - 13% - 9%

有機質原料内容

魚粉末	蒸製骨粉	脱脂米ぬか	ナタネ油粕
10%	31%	10%	4%
合計		55%	

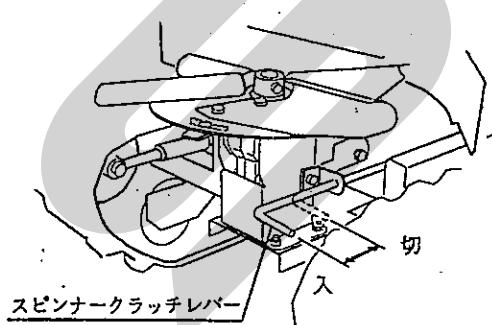
(片倉チッカリン)

## (1) 混合・散布を行なう場合

### ▲ 警告

- オーガが回転している時は、スピナークラッチを「入」にすると、急にスピナが回転し、巻き込まれケガをする事があります。  
オーガが回転している時スピナークラッチを操作しないでください。

- ① エンジンを停止してください。
- ② 主クラッチレバー、作業クラッチレバーを「切」、主変速を停止、副変速を中立の位置にして、駐車ブレーキをかけてください。
- ③ 散布シャッタ、取り出しシャッタを閉じてください。
- ④ ホッパカバーを開いてください。
- ⑤ 肥料を比重の軽い物、または、全体量の多い物からホッパに投入してください。  
この時、ホッパに均平になるように投入しますと早く混ざります。
- ⑥ 肥料の投入が完了しましたら、ホッパカバーを閉じて、しっかりとロックしてください。
- ⑦ スピナークラッチレバーを「入」の位置にします。
- ⑧ まわりの安全を確かめた後、エンジンを始動してください。
- ⑨ 作業クラッチを「入」にし、オーガを回転させ混合を行ないます。
- ⑩ 肥料が十分に混合できましたら、主クラッチレバーを「入」にし、主変速レバーを前進または後進側へ倒し、本機を作業速度で走行させます。
- ⑪ 同時に散布レバーを引き、肥料の散布を行なってください。



## (4) 混合のみを行ない取出口から取出す場合

### ▲ 警告

- スピナークラッチを入れたまま取出口から肥料を取り出すと、スピナに巻き込まれケガをする事があります。  
作業クラッチを切り、スピナークラッチを切った後、取り出し操作をしてください。

- ① エンジンを停止してください。

② 主クラッチレバー、作業クラッチレバーを「切」、主変速を停止、副変速を中立の位置にして、駐車ブレーキをかけてください。

③ 散布シャッタ、取り出しシャッタを閉じてください。

④ ホッパカバーを開いてください。

⑤ 肥料を比重の軽い物、または、全体量の多い物からホッパに投入してください。

この時、ホッパに均平になるように投入しますと早く混ざります。

⑥ 肥料の投入が完了したら、ホッパカバーを閉じて、しっかりとロックしてください。

⑦ スピナークラッチレバーを「切」の位置にします。

⑧ まわりの安全を確かめた後、エンジンを始動してください。

⑨ 作業クラッチレバーを「入」にし、オーガを回転させ、混合を行ないます。

⑩ 肥料の混合が終了したら、作業クラッチレバーを「切」にし、本機の取出しシートを固定しているリンチピンをはずし、取出しシートを作業位置にしっかりとロックしてください。

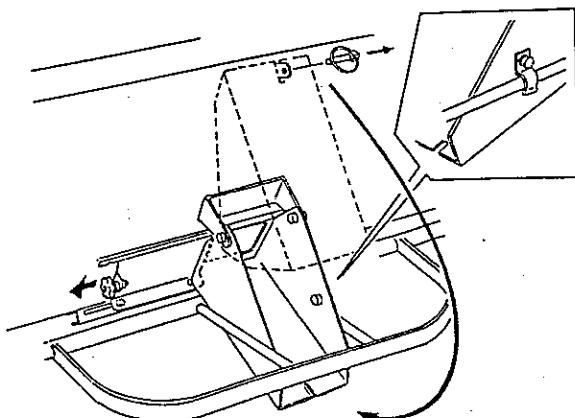
⑪ 取出しシートの下に肥料を受ける容器を置き、取出しシャッタを開きます。

⑫ 取出しシャッタが開くと同時に肥料が落下しますが、落下が不充分な場合は作業クラッチレバーを「入」にして、オーガを回転させてください。

### ▲ 警告

- 運転中又は回転中、取出口に手を入れると回転物に接触し、ケガをする事があります。  
手を入れないでください。

- ⑬ 容器がいっぱいになったら取出しシャッタを閉じてください。



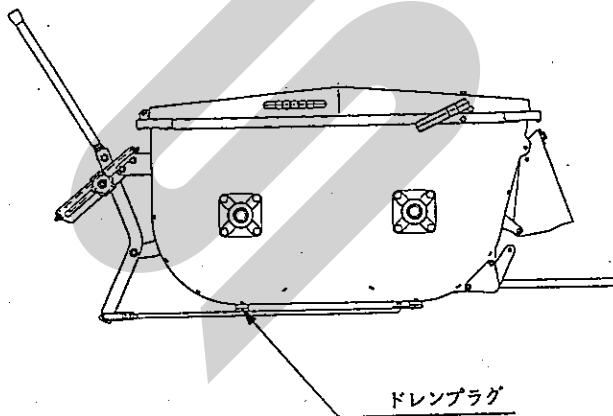
## 5 作業が終わったら

### 1 作業後の手入れ

#### ▲ 注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行なう時、作業クラッチおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- マフラーに触るとヤケドをする事があります。マフラーには触れないでください。

1. ボルト・ナット・ピン類のゆるみ、脱落がないか。  
又、破損部品がないか確認してください。  
異常があれば、ボルトの増し締め、部品の交換をしてください。
2. 作業終了後は水洗いし、ホッパ内の肥料をきれいに流してください。  
ホッパ内の水抜きは、進行方向右下に付いている1ヶ所のドレンプラグを外してください。  
水抜きが完了したらドレンプラグは元の位置にしっかりと差し込んでください。



### 2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
4. 塗装損傷部は、補修塗装または油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しのよい屋内に保管してください。

## 6 点検と整備について

調子良く作業するために、定期的に行いましょう。  
機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

### ▲注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと本機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こすことがあります。  
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業クラッチ及びエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こすことがあります。  
作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
元通りに取り付けてください。

### 1 点検整備一覧表

時 間	チェック項目	處 置
新品使用1時間	全ボルト・ナットのゆるみ	増し締め
使用後50時間	ギヤボックスのオイル	オイル交換
使 用 毎 (始業終業点検)	①機械の清掃 ・ホッパ内 ②部品脱落・破損部 ③各部のボルト・ナットの緩み ④各部油もれ ⑤各部の油脂類	肥料の清掃 補充、交換 増し締め シールチェック、破損時交換 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油、給脂
シーズン終了後	①ギヤボックスのオイル ②各部の破損、摩耗 ③各部の清掃 ④各部の給油、給脂 ⑤塗装損傷部 ⑥エンジン	交換 早めの部品交換、補修  「2-3 給油箇所一覧表」に基づき給油・給脂 塗装または油塗布 「エンジン取扱説明書」に基づき点検・整備

### 2 各部の調整

#### 1. ローラチェーンの張り調整

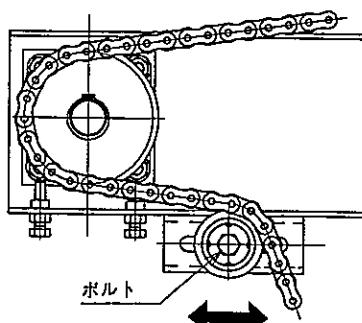
ローラチェーンは、使用するにつれて少しずつ伸びが生じます。

円滑な動力の伝達をするために、ローラチェーンの張り調整を行ってください。

特に、最初の使用では初期伸びが生じますので、使用前に必ず張り調整を行ってください。

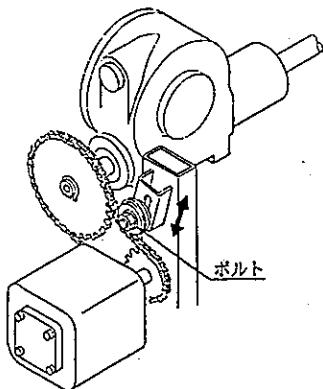
#### (1) オーガ駆動部

ボルトを緩め、テンションローラを動かしてローラチェーンの張りを調整し、ボルトを締めてください。



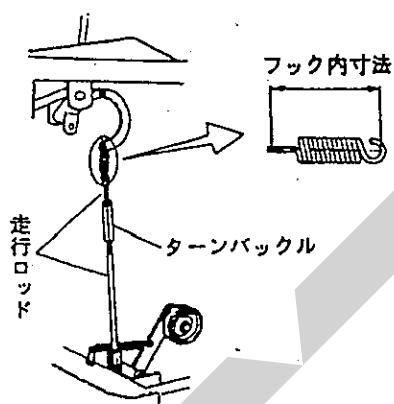
## (2) ウォームボックス入力部

ボルトを緩め、テンションローラを動かしてローラチェーンの張りを調整し、ボルトを締めてください。

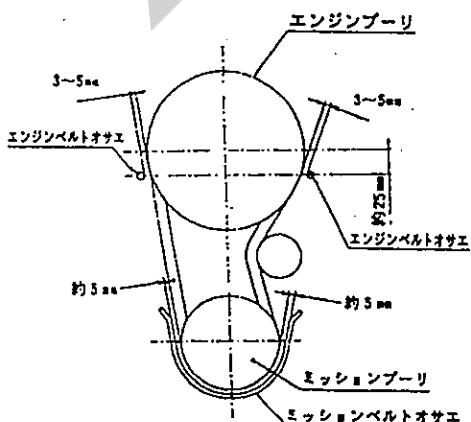


## 2. 走行ベルトの調整

- (1) 主クラッチレバーを「入」にし、スプリングフック内寸法が50~55mmになるように、走行ロッドのターンバックルで調整してください。



- (2) ターンバックルで調整しきれない場合は、エンジン取り付けボルトをゆるめ、エンジンを移動させてください。
- (3) ベルトに亀裂・損傷・ひび割れがある場合は、交換してください。
- (4) ベルト交換やベルト調整を行った後は、主クラッチレバーを「入」にし、ベルト押さえをセットしてください。

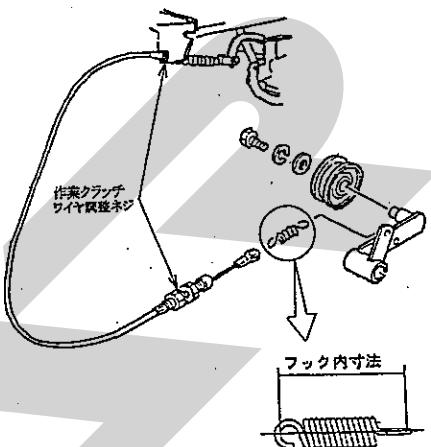


## 取扱い上の注意

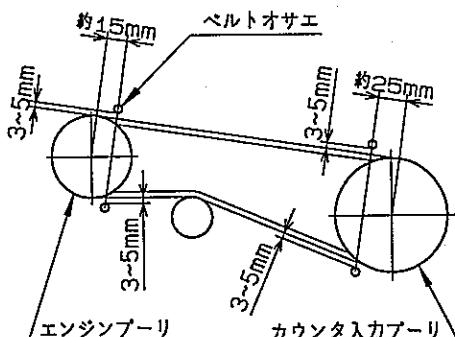
ベルト押さえの調整を行った後は、必ず、変速レバーを中立にし、主クラッチレバーを「入」「切」した時、ベルトが完全に停止する事を確認してください。

## 3. 作業ベルトの調整

- (1) 作業クラッチレバーを「入」にし、スプリングフック内寸法が50~55mmになるように、作業クラッチ整ネジで調整してください。



- (2) ベルトに亀裂・損傷・ひび割れがある場合は、交換してください。
- (3) ベルト交換やベルト調整を行った後は、作業クラッチレバーを「入」にし、ベルト押さえをセットしてください。



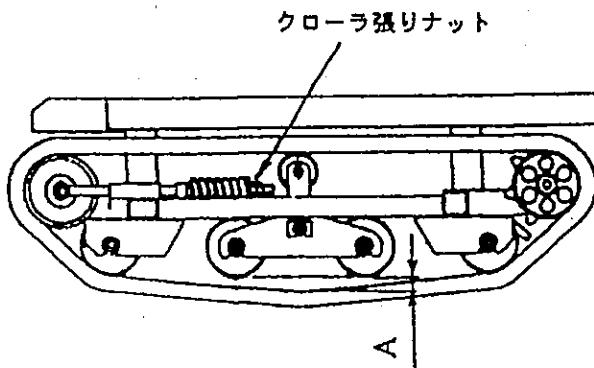
## 取扱い上の注意

ベルト押さえの調整を行った後は、必ず、作業クラッチレバーを「入」「切」した時、ベルトが完全に停止する事を確認してください。

## 4. 足回りの調整

- (1) 片側をジャッキアップしてA寸法が10~15mmになるように、クローラ張りナットで調整してください。
- (2) 中間の遊動輪とクローラのすきまに、人差し指が入る程度をクローラ張りの目安とすると便利です。

遊動輪、クローラに亀裂、損傷、摩耗がある場合は、交換してください。



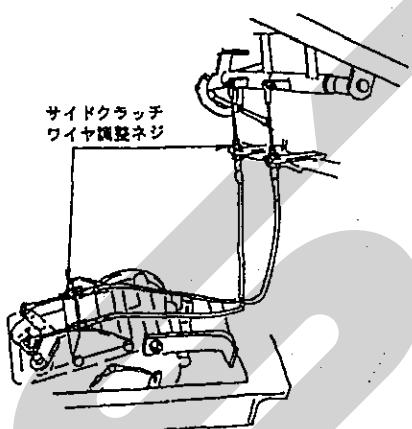
#### 取扱い上の注意

クローラの張りが弱いと、歯飛び、脱輪の原因となり、強すぎるとクローラの切断、本機の損傷の原因となります。

グリスアップしすぎますと、遊動輪が回転しなくなりますので、入れすぎに注意してください。

#### 5. サイドクラッチレバーの調整

レバーの遊びが、レバー先端で3~6mmになるように、サイドクラッチワイヤ調整ネジで調整してください。



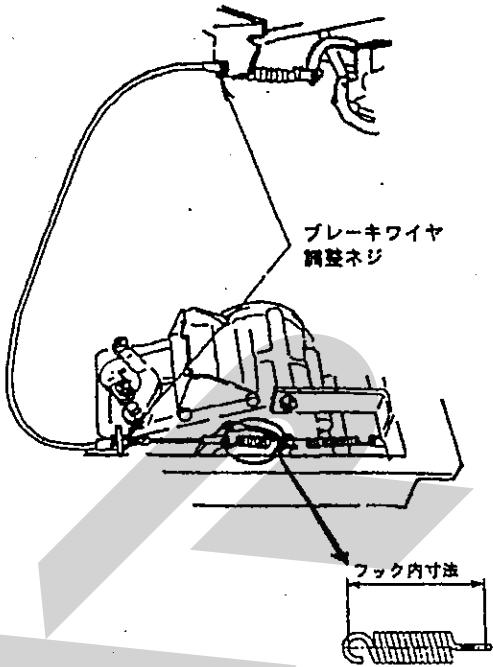
#### 取扱い上の注意

調整を行った時は、必ずエンジンを始動させ、レバーを引いた時に本機が旋回し、離した時に旋回を中止するか確認してください。

#### 6. 駐車ブレーキレバーの調整

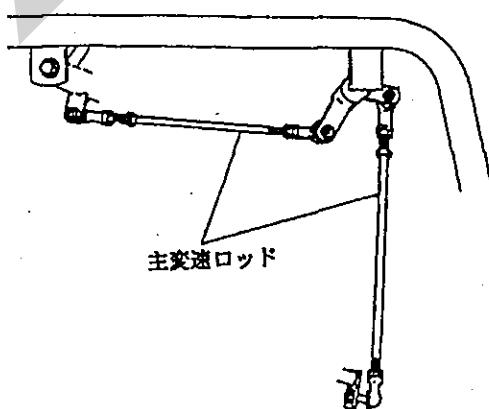
(1) 駐車ブレーキレバーを「入」にし、スプリング内寸法が70~75mmになるように、ブレーキワイヤ調整ネジで調整してください。

スプリングのフック内寸法を70~75mmにしてもブレーキのききが甘い時は、ブレーキシューの交換をしてください。



#### 7. 主変速レバーの調整

主変速レバーを停止の位置にし、ロッドで調整してください。



#### 取扱い上の注意

調整を行った後は、必ずエンジンを始動させ、主変速レバーを停止の位置にした時、本機が完全に停止している事を確認してください。

## 7 不調時の対応

### ▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地又は軟弱地などで行うと、本機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業クラッチおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。  
元通りに取り付けてください。

### 1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
シャッタが動かない	シャッタとボトムプレートの間に肥料が詰まる	清掃
	回動支点部がさび付いている	さびを取り除きグリースを塗布する
肥料がない	使用している肥料の水分が高い	ホッパ内部を清掃し乾燥した肥料を使用する
異常音・異常振動	チェーンがゆるみスプロケットがとぶ	チェーン張り調整
走行しない	ベルトのスリップ	「6-2-2 走行ベルトの調整」に基づきベルト張り調整を行う
	ベルトの損傷、切断	「6-2-2 走行ベルトの調整」に基づきベルト張り調整を行う
足回りよりキーキーと音がする	遊動輪のグリース切れ	「2-3 純油箇所一覧表」に基づきグリースアップをする
旋回しない、又は戻りが悪い	クローラの張りが適切でない	「6-2-3 足回りの調整」に基づきクローラ張り調整を行う
	クローラの損傷	「6-2-3 足回りの調整」に基づきクローラ張り調整を行う
	サイドクラッチワイヤの調整が適切でない	「6-2-4 サイドクラッチレバーの調整」に基づきサイドクラッチワイヤ調整を行う
	サイドクラッチワイヤの切断	「6-2-4 サイドクラッチレバーの調整」に基づきサイドクラッチワイヤの交換をする
ブレーキのききが甘い	ブレーキワイヤの調整が適切でない	「6-2-5 駐車ブレーキレバーの調整」に基づきブレーキワイヤの調整を行う
	ブレーキシューの摩耗	「6-2-5 駐車ブレーキレバーの調整」に基づきブレーキシューの交換をする
	ブレーキワイヤの切断	「6-2-5 駐車ブレーキレバーの調整」に基づきブレーキワイヤ交換
本機が停止しない	主変速ロッドの調整が適切でない	「6-2-6 主変速レバーの調整」に基づき主変速ロッドの調整を行う

原因や処置の仕方がわからない場合は下記事項とともに購入先にご相談ください。

- 製品名
- 型式
- 製品番号
- 故障内容（できるだけ詳しく）

## 8 オプション

### 1 キャンバスカバーattachメント

比重が異なる肥料の散布、幅規制が必要な場合などは、キャンバスカバーをミキシングスプレッダに装着して使用してください。

#### ▲注意

- キャンバスカバーを着脱・調整する時、本機のエンジンをとめずに行うと、第三者の不注意により、不意に本機が動いたりして事故を起こすことがあります。  
エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて行ってください。

#### 1. キャンバスカバーの組立・装着

##### (1) 解 槍

木枠に固定している部品をほどき、必要部品が壊っているか確認してください。

##### (2) 組 立

- ①メインフレームにフレームL、Rを組付けてください。

連結部分は動くように調節してください。

②散布量が2.2m~2.5mの範囲の時は、延長部分（プレート、アングル）を使用しますので、組付けてください。

組付け方法は「散布幅の調整方法」を参照してください。

③メインフレームのフック部をスピナーガードに引っかけ、頭付ピンを差し込みベータピンで固定してください。

④キャンバスBをメインフレームに組付けてください。

図の様にパイプをキャンバスBとメインフレームに通し、ワリピン、キャップの順に組付けます。

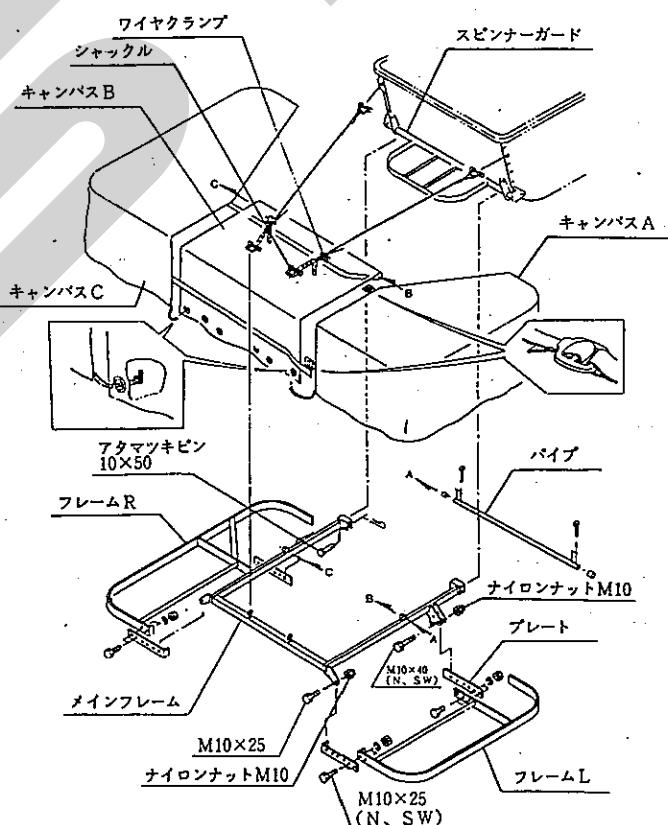
キャンバスBに付いているヒモでメインフレームに固定します。

⑤メインフレームが地面に水平になるよう、ワイヤーリンクチェーンでつり下げてください。

⑥キャンバスAとCをフレームL、Rに組付けてください。

キャンバスに付いているヒモでフレームに固定します。

⑦キャンバスAとCをベルトにつなぎ、たるみを取り、下部に縫い付けてあるロープをキャンバスBのハトメに通し、ぱたつかないように玉結びを作ります。



## 2. キャンバスカバーの折りたたみ方法

### (1) 側方部の降りたたみ方

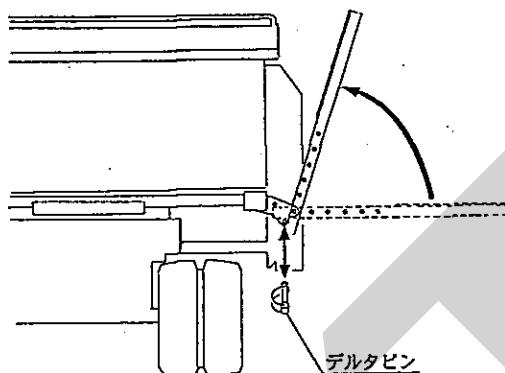
狭い場所での移動やハウスに出入りする時に、左右のフレームを上方に折りたたむことができます。

#### [ 折りたたみ方 ]

- ① 固定用のデルタピンを外します。
- ② 左、右フレームをゆっくりと持ち上げます。
- ③ デルタピンを元の位置に戻し、折りたたんだ状態で固定します。

#### [ 開き方 ]

- ① 折りたたんだ状態の左、右のフレームを手で支え、急に開かないように注意します。
- ② 固定用のデルタピンを外し、フレームをゆっくりと開きます。
- ③ デルタピンは元の位置に戻してください。

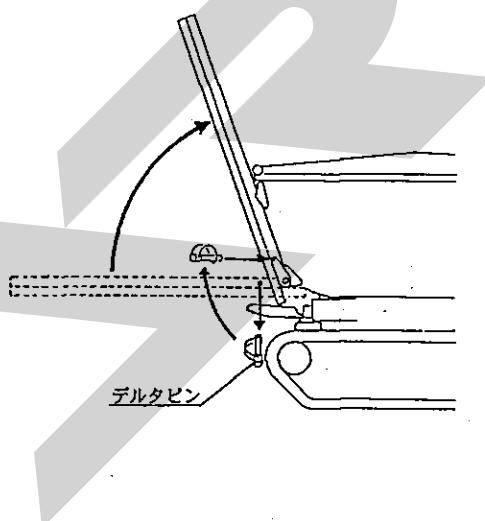


### [ 開き方 ]

- ① キャンバスカバーが倒れないように支えます。
- ② キャンバスカバーを固定しているデルタピンを外します。
- ③ ゆっくりと降ろし、デルタピンをメインフレームの穴に戻します。

#### [ 取扱い上の注意 ]

キャンバスカバーを持ち上げた状態では前方の視界が悪いので前進の操作は行わないでください。また、後進する時も低速で行ってください。



#### [ 取扱い上の注意 ]

折りたたむ時はキャンバスが、フレームの連結部分に挟まったり、引っ掛からないように十分注意してください。

キャンバスカバーの折りたたみは移動時のみとし、作業クラッチは「切」にしてください。

スピナーガードが回転しているとキャンバスに接触して機械を破損する事があります。

### (2) 前方部の折りたたみ方

格納時や運搬機（トラック等）による移動時に、キャンバスカバー全体を上方に折りたたむ事ができます。

#### [ 折りたたみ方 ]

- ① メインフレームについているデルタピン2本を外してください。
- ② キャンバスカバー全体を本機側へ持ち上げます。
- ③ メインフレームの穴とスピナーガードのステーの穴が合う位置まで持ち上げ、確実にデルタピンを両方の穴に通し、キャンバスカバーを固定してください。

### 3. 敷布幅の調整

キャンバスカバーを使用すると、2.0~2.5mの範囲で敷布幅の調整ができます。

出荷時は2.2mに調整してあります。

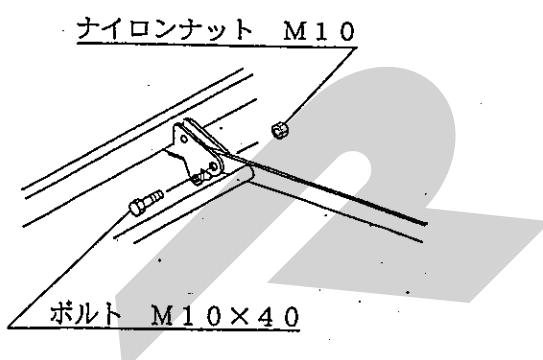
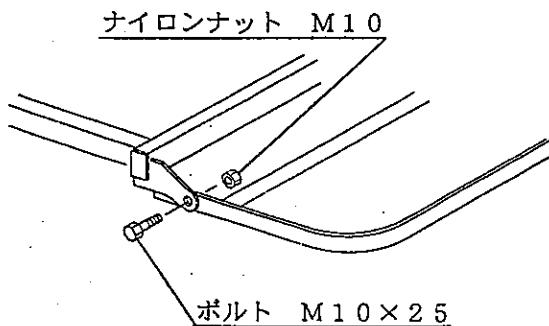
2.0~2.1mに調整する場合は、延長部品（プレート・アングル）を取り外してください。

延長部品は大切に保管してください。

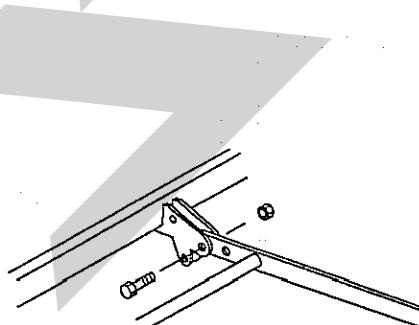
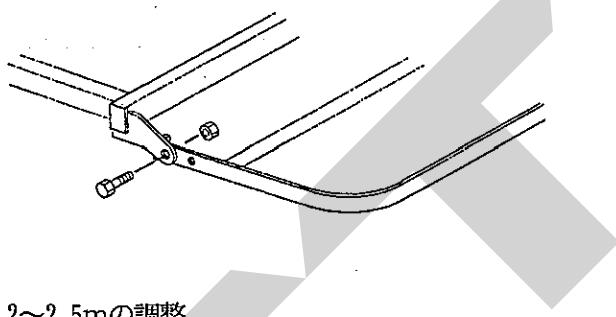
調整方法は図を参照してください。

#### (1) 2.0~2.1mの場合

##### ① 2.0mに調整する時

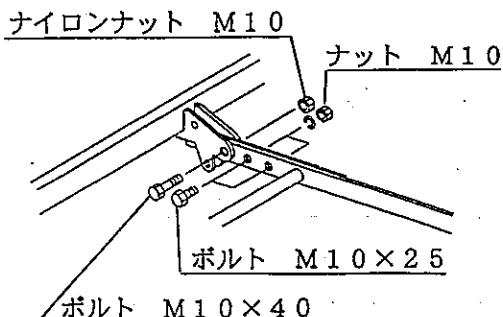
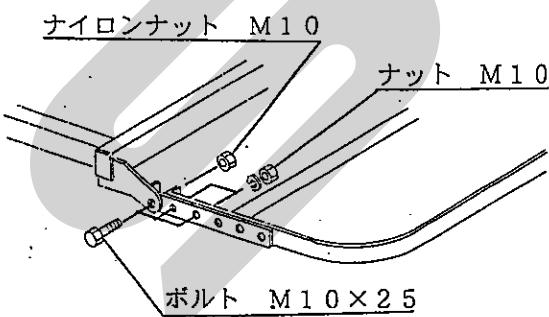


##### ② 2.1mに調整する時

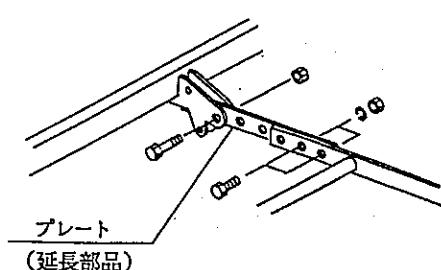
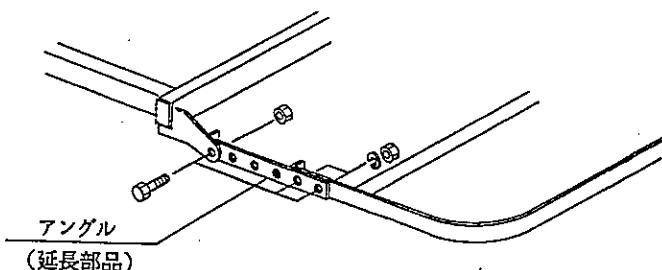


#### (2) 2.2~2.5mの調整

##### ① 2.2m（出荷時）に調整する時



##### ② 2.5mに調整する時



## 9 部品表

### 部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください。）
- ④ 部品番号（　　〃　　）
- ⑤ 個数（　　〃　　）

※ 部品供給型式は取扱説明書・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 個数欄の ・ は、以下のことを表しております。

- … シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品
- … アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

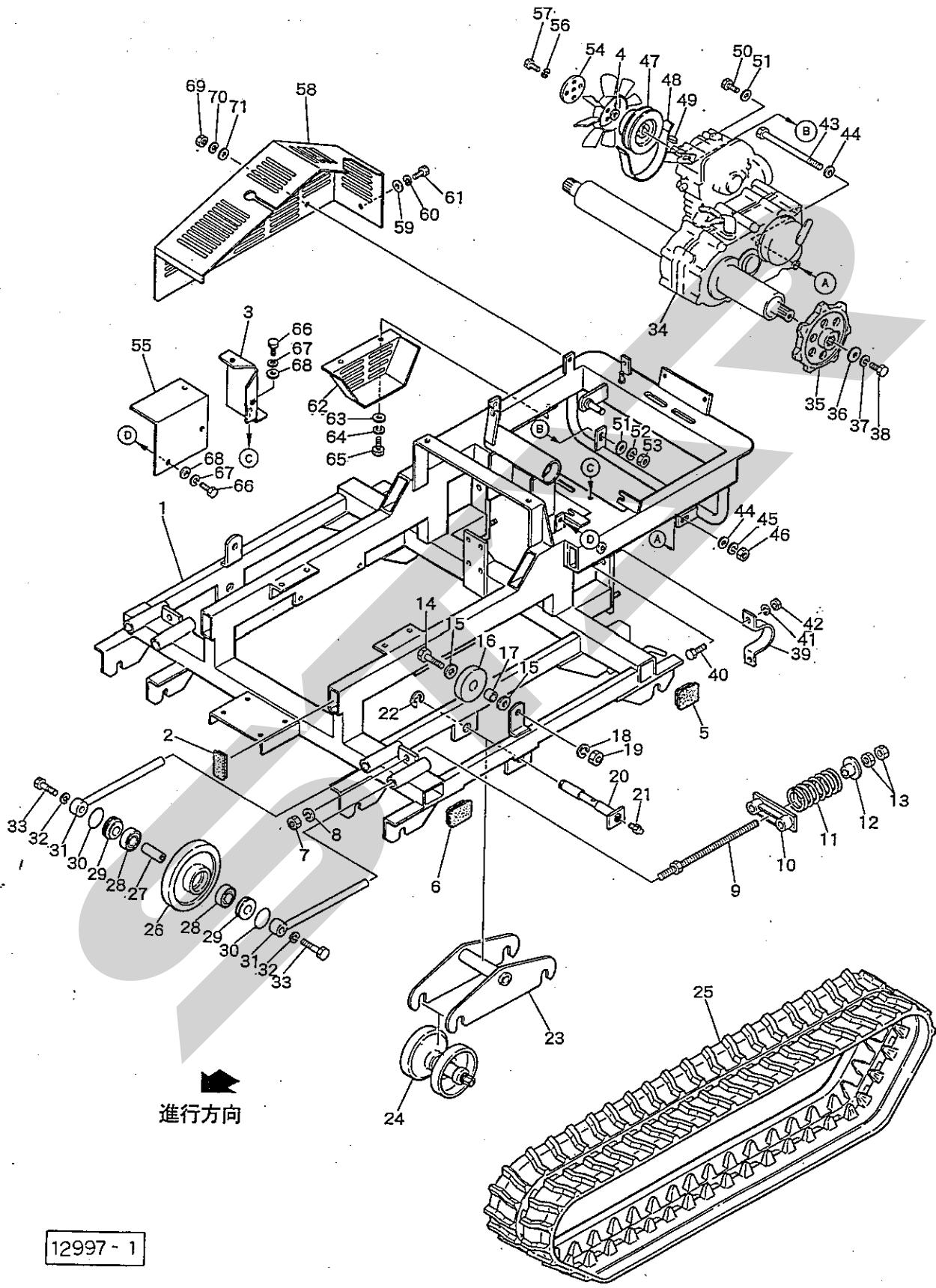
### 補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

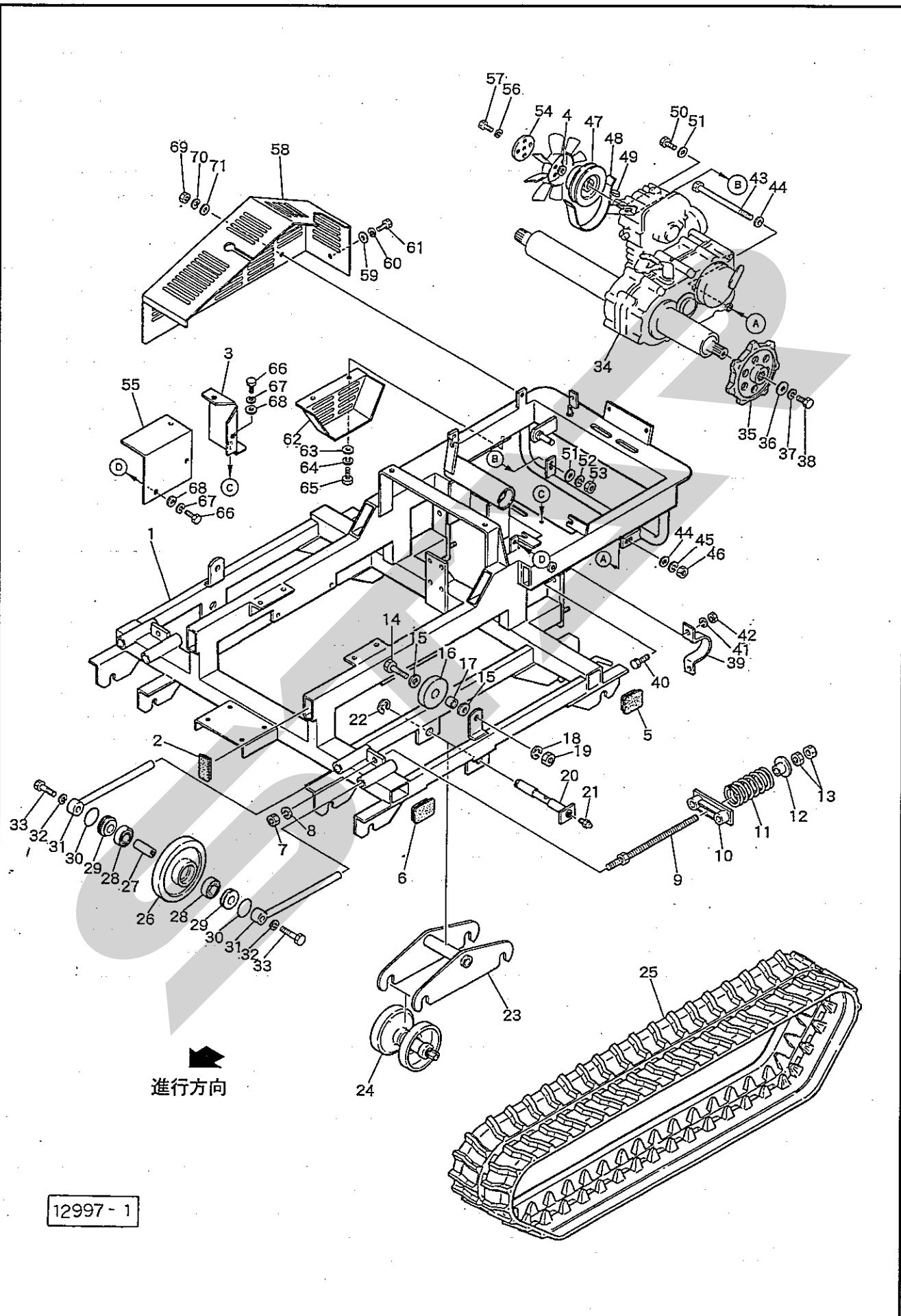
JXS0510 ミキシングスプレッダ  
アシマワリ



JXS0510 ミキシングスプレッダ  
アシマワリ

見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1		シャーシ	1	
2	HL8606091000	ゴムキャップ t2.3×60×30	2	
3	HL2801120300	カバー (ベルト B)	1	
4	HL0890120200	カラー (HST ファン)	1	
5	HL0850060000	ゴムキャップ t3.2×50×50	2	
6	HL0850060100	ゴムキャップ t3.2×60×40	2	
7	HL0020900016	ナット 小型並目 M16	2	
8	WSA16	バネザガネ 3ゴウ M16	2	
9	HL0850121300	ボルト (クローラハリ)	2	
10	HL6331420000	クローラ張り金具	2	
11	HL0800020100	スプリング (クローラ張り)	2	
12	HL0850120200	カラー (スプリング受け)	2	
13	NA16	ナット 4 2シュ M16	4	
14	BZ08045	ボルト 4.6 M8×45	2	
15	HL6152201010	座金	4	
16	HL6376520000	ローラ φ78	2	
17	HL6881150020	転輪軸	2	
18	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
19	NA08	ナット 4 2シュ M8	2	
20	HL0850121200	シャフト (スイングアーム)	2	
21	HL0060660000	グリスニップル U1/4A 28山	2	
22	DE015	Eガタトメワ 15	2	
23	HL0850121100	スイングアーム	2	
24	HL0850160100	遊動輪	8	
25	HL2800160000	クローラ W250×L35×P72	2	
26	HL6331530000	前輪	2	
27	HL6061540000	前輪軸	2	
28	J6204LLU	ボールベアリング 6204LLU	4	
29	HL6066511000	防塵カラー	4	
30	ORG045	Oリング G-45	4	
31	6061410000	クローラ張りロット	4	
32	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	8	
33	BZI12045	ボルト 8.8 ゼン M12×45	4	
34	HL86960070	ミッション CM62D4	1	
35	HL6030020000	スプロケット 7T	2	
36	HL6030201000	座金	2	
37	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	2	
38	BA10020	ボルト 4.6 M10×20	2	
39	HL6501230000	ホーシング押工金具	2	
40	BA12035	ボルト 4.6 M12×35	4	
41	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	4	
42	NA12	ナット 4 2シュ M12	4	
43	BA10160	ボルト 4.6 M10×160	1	
44	WRA10	ヒラザガネ M10	2	
45	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	1	
46	NA10	ナット 4 2シュ M10	1	
47	HL8272300000	ミッション入力軸プーリー	1	
48	HL0890120100	ベルトオサエ (ミッション)	1	
49	KFC05050300	ヘイコウキー リョウマル 5×5×30	1	
50	BA08025	ボルト 4.6 M8×25	1	
51	WRA08	ヒラザガネ M8	2	
52	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	1	
53	NA08	ナット 4 2シュ M8	1	
54	HL8272200010	座金	1	
55	HL2801120400	カバー (ベルト C)	1	

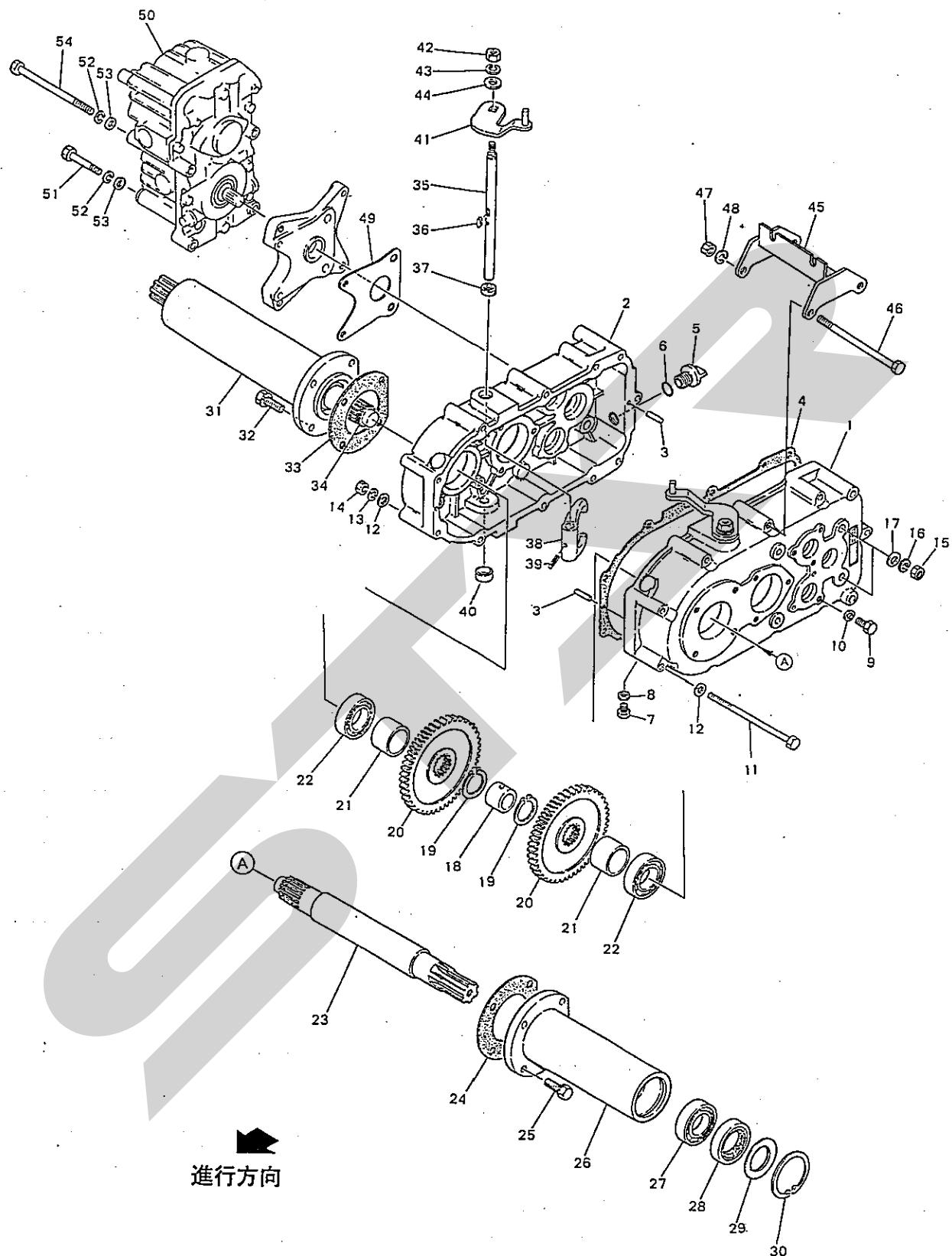
JXS0510 ミキシングスプレッダ  
アシマワリ



12997 - 1



JXS0510 ミキシングスプレッダ  
ミッション (1)



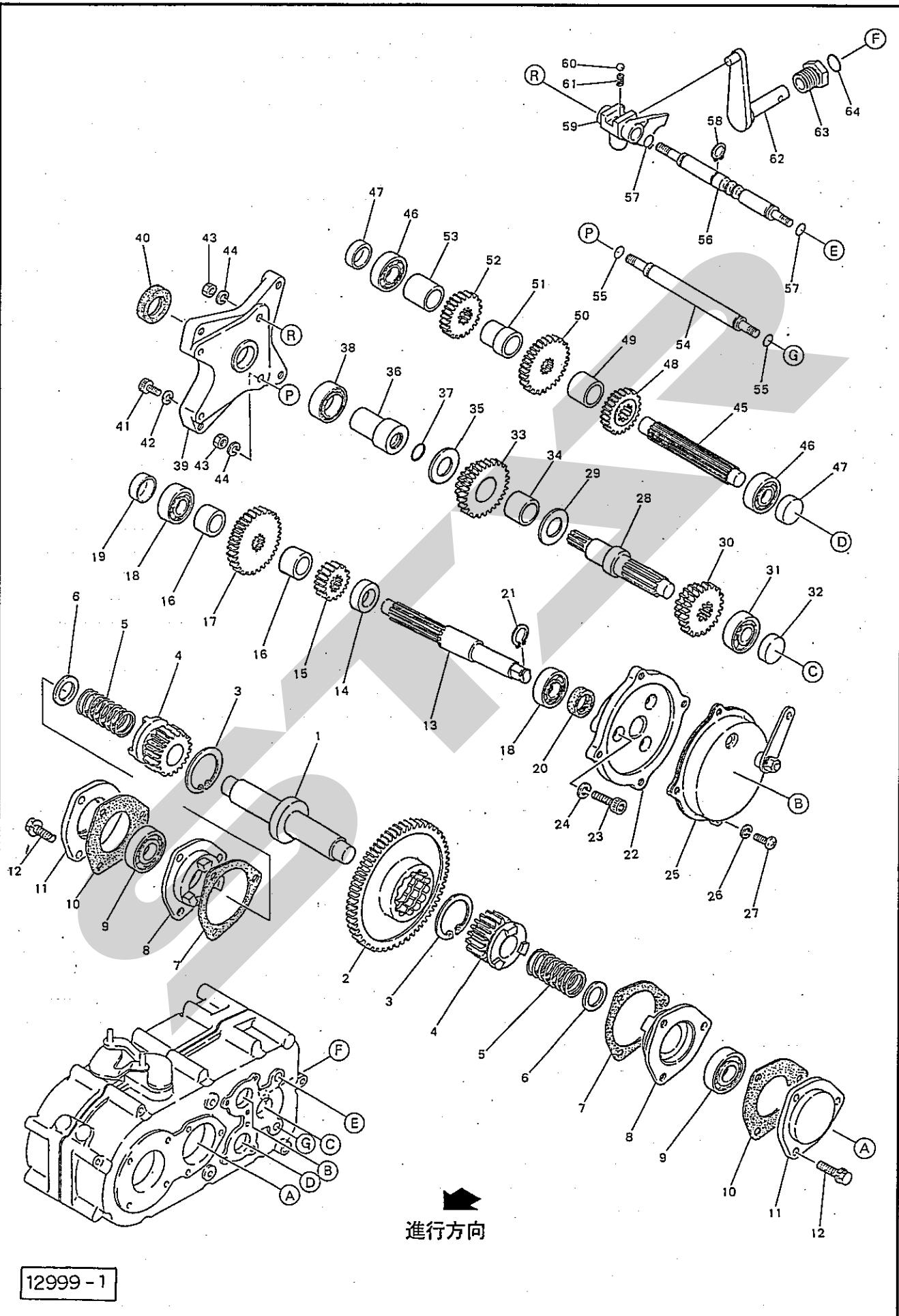
12998-1

# JXS0510 ミキシングスプレッダ

## ミッショ n (1)

見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	HL6987020000	ミッショ n ケース (右)	1	
2	HL6987020100	ミッショ n ケース (左)	1	
3	HL6036500520	平行ピン φ 5×20	2	
4	HL9997060000	パッキン (ミッショ n ケース)	1	
5	HL9997060200	給油栓 (穴なし)	1	
6	ORP018	Oリング P-18	1	
7	BA08012	ボルト 4.6 M8×12	1	
8	HL0025100008	シールワッシャ M8	1	
9	BA08012	ボルト 4.6 M8×12	1	
10	HL0025100008	シールワッシャ M8	1	
11	BA080130	ボルト 4.6 M8×130	7	
12	WRA08	ヒラザガネ M8	14	
13	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	7	
14	NA08	ナット 4 2シュ M8	7	
15	NAC08	ナット 4 3シュ M8	2	
16	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
17	WRA08	ヒラザガネ M8	2	
18	HL9997620200	カラーA (車軸センター)	1	
19	DC030	Cガタトメワ ジク 30	2	
20	HL9997620100	車軸ギヤ 47T	2	
21	HL9997620300	カラーB (車軸)	2	
22	J6006	ボールベアリング 6006	2	
23	HL6967620000	車軸 (右)	1	
24	HL9997660000	パッキン (車軸ケース)	1	
25	BSPZ10025	コガタSWソキボルト 7 M10×25	4	
26	HL6967620200	車軸ケース (右)	1	
27	J6006	ボールベアリング 6006	2	
28	UE305512	オイルシール UE305512	2	
29	HL9997620500	カバー (オイルシール)	2	
30	DHC55	Cガタトメワ アナ 55	2	
31	HL6967620300	車軸ケース (左)	1	
32	BSPZ10025	コガタSWソキボルト 7 M10×25	4	
33	HL9997660000	パッキン (車軸ケース)	1	
34	HL6967620100	車軸 (左)	1	
35	HL9997520700	ホーク軸 (サイドクラッチ)	2	
36	KFC04040120	ヘイコウキー リョウマル 4×4×12	2	
37	UE12227	オイルシール UE12227	2	
38	HL9997520800	クラッチホーク	2	
39	PS040020	スプリングピン 4×20	2	
40	KRCA2007	シールキャップ EZ0025B0	2	
41	HL9997520900	グラッチレバー	2	
42	NAC08	ナット 4 3シュ M8	2	
43	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
44	WRA08	ヒラザガネ M8	2	
45	HL9997920000	プラケット (ワイヤー受け)	1	
46	BA08130	ボルト 4.6 M8×130	2	
47	NA08	ナット 4 2シュ M8	2	
48	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
49	HL6987160000	パッキン (プレート)	1	
50	HL6987160100	HST	1	
51	BA08050	ボルト 4.6 M8×50	2	
52	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	4	
53	WRA08	ヒラザガネ M8	4	
54	BA08120	ボルト 4.6 M8×120	2	

JXS0510 ミキシングスプレッダ  
ミッション (2)

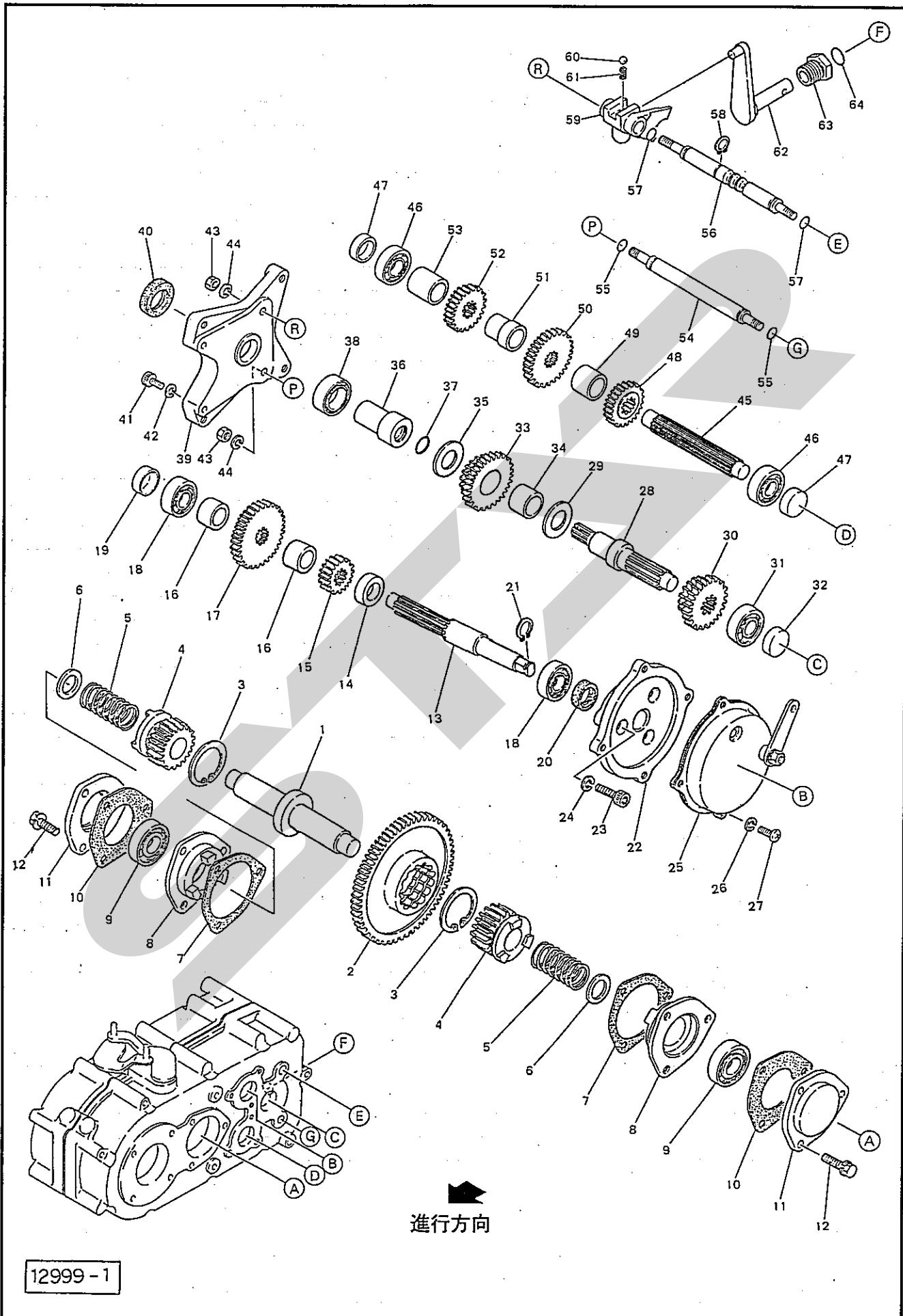


## JXS0510 ミキシングスプレッダ

## ミッショーン (2)

見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	HL9997520000	サイドクラッチ軸	1	
2	HL9997520100	クラッチギヤ 61T	1	
3	DHC042	Cガタトメワ アナ 42	2	
4	HL9997520200	クラッチギヤ 17T	2	
5	HL9997520600	スプリング (クラッチ軸)	2	
6	HL9997520500	カラーH (クラッチ軸)	2	
7	HL9997560000	パッキン (サイドクラッチカバー)	2	
8	HL9997520300	サイドクラッチツメ	2	
9	J6004	ボールベアリング 6004	2	
10	HL9997560100	パッキン (サイドクラッチカバー)	2	
11	HL9997520400	カバー (クラッチ軸)	2	
12	BSPZ08025	コガタSWツキボルト 7 M8×25	6	
13	HL7997220000	ブレーキ軸	1	
14	HL7997220100	カラーC (ブレーキ軸)	1	
15	HL7997220600	二軸ギヤ 15T	1	
16	HL6997220000	カラーA (ブレーキ軸)	2	
17	HL9997220200	ローラギヤ 27T	1	
18	J6003	ボールベアリング 6003	2	
19	KRCA2807	シールキャップ EZ0036A0	1	
20	UE17287	オイルシール UE17287	1	
21	DC015	Cガタトメワ ジク 15	1	
22	HL9997220900	ブレーキホルダ	1	
23	BH06030	キャップB 10.9 M6×30	3	
24	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	3	
25	HL9997260000	ブレーキASSY	1	
26	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	4	
27	CP06014	+ナベコネジ M6×14	4	
28	HL6987120000	入力軸 (A)	1	
29	HL0040020351	スラスト軌道輪 FTAR-2035	1	
30	HL6967120000	入力軸ギヤ 27T/18T	1	
31	J6003	ボールベアリング 6003	1	
32	KRCA2807	シールキャップ EZ0036A0	1	
33	HL6967120200	入力軸ギヤ 27T/18T	1	
34	MB2020DU	ドライベアリング MB2020DU	1	
35	HL0040015280	スラスト軌道輪 FTAR-1528	1	
36	HL6987120100	入力軸 (B)	1	
37	ORP015	Oリング P-15	1	
38	J6805	ボールベアリング 6805	1	
39	HL6987120200	プレート (HST取付)	1	
40	UE25387	オイルシール UE25387	1	
41	BH06020	キャップB 10.9 M6×20	2	
42	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	2	
43	NAC08	ナット 4 3シュ M8	2	
44	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
45	HL6997320000	三軸	1	
46	J6003	ボールベアリング 6003	2	
47	KRCA2807	シールキャップ EZ0036A0	2	
48	HL6967320000	三軸ギヤ 18T	1	
49	HL6997320300	カラーA (三軸)	1	
50	HL9997220200	ローラギヤ 27T	1	
51	HL6997320400	カラーB (三軸)	1	
52	HL6997320200	三軸ギヤ 18T	1	
53	HL6997320500	カラーC (三軸)	1	
54	HL6997720100	ロッド	1	
55	ORP010	Oリング P-10	2	

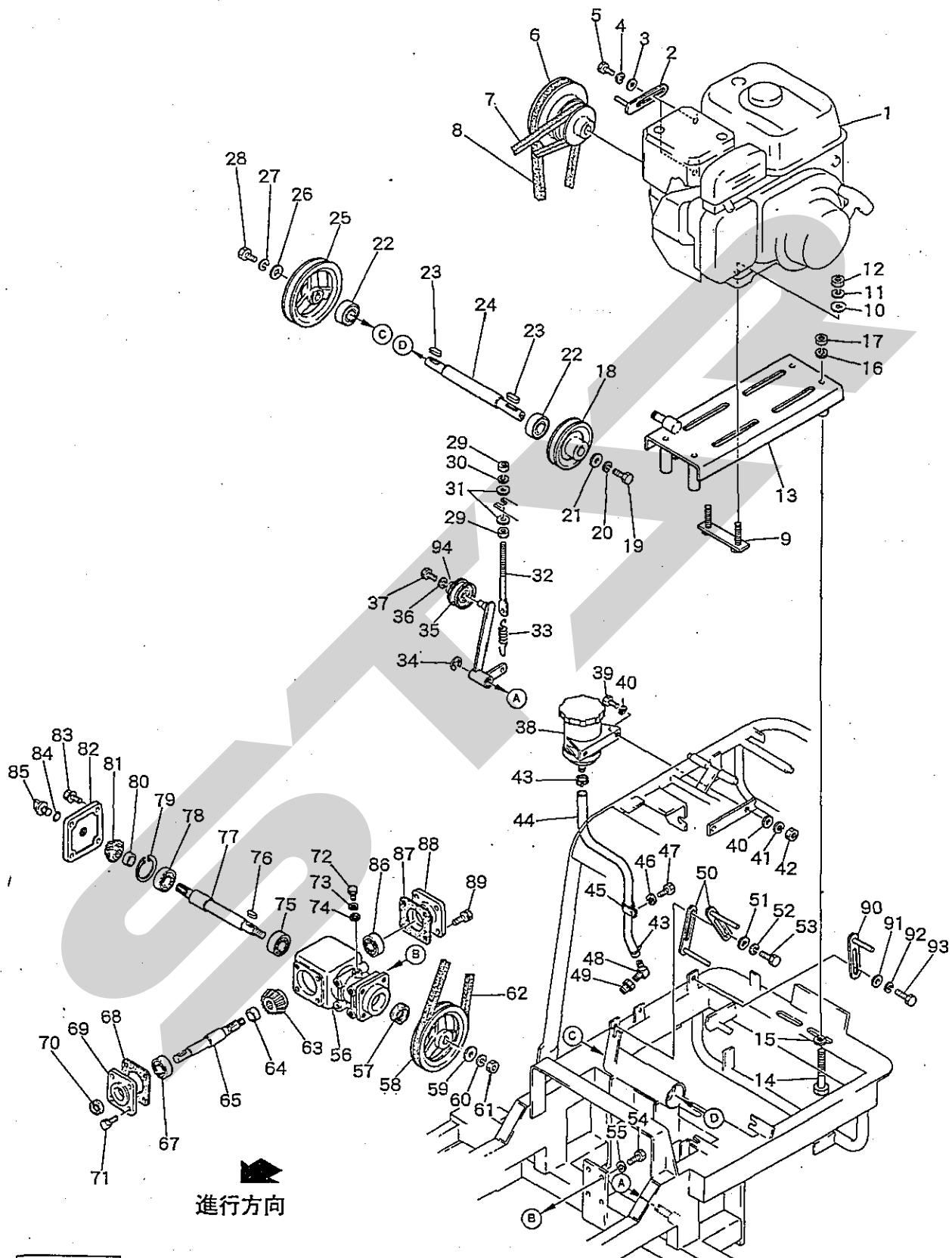
JXS0510 ミキシングスプレッダ  
ミッション (2)



12999-1



JXS0510 ミキシングスプレッダ  
デンタツ

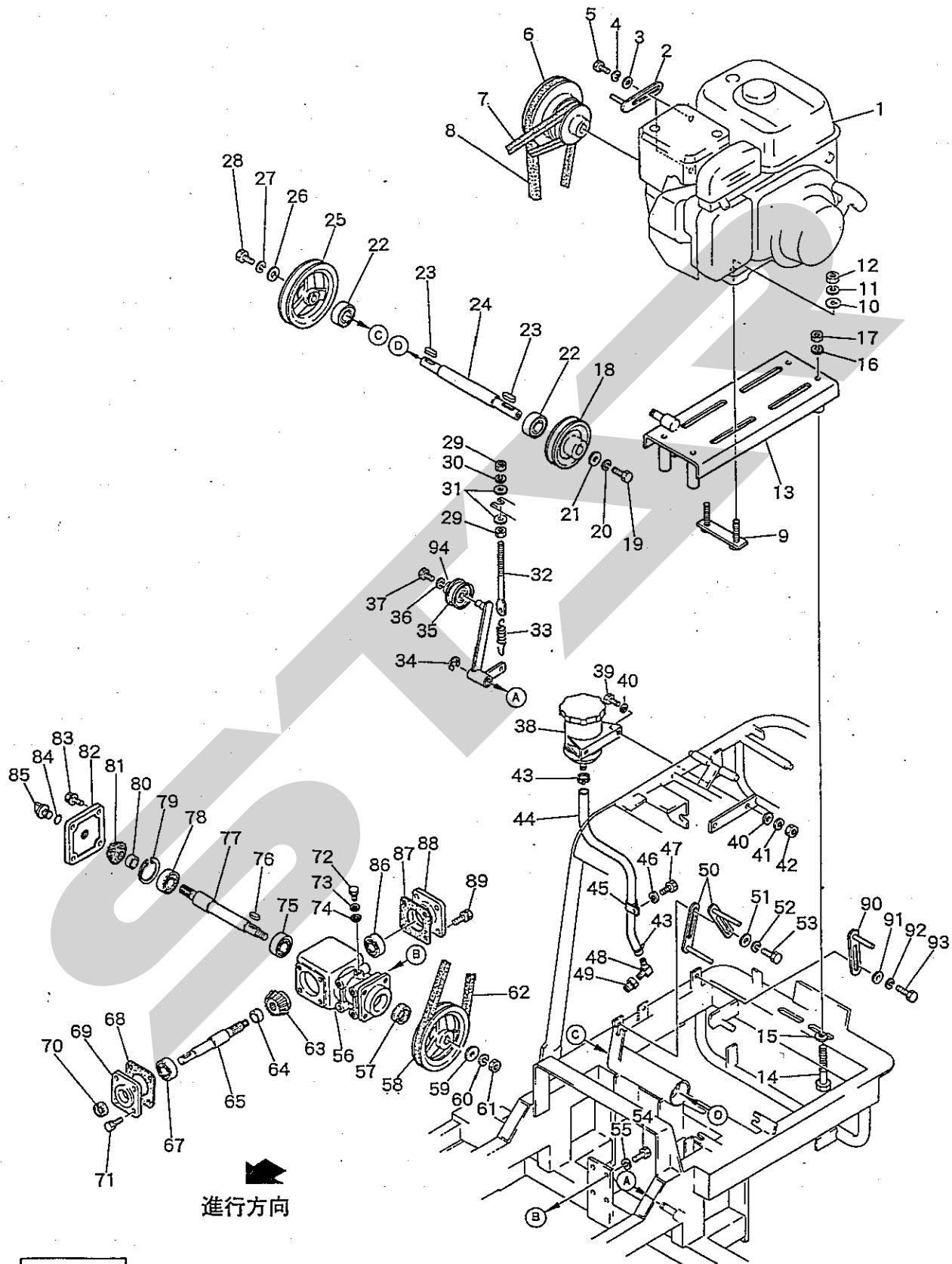


13000-1

JXS0510 ミキシングスプレッダ  
デンタツ

見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	HL2802260000	エンジン GM181LN メイキ	1	
2	HL6062370010	ベルトオサエ	2	
3	WRA08	ヒラザガネ M8	2	
4	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
5	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	2	
6	HL2802220100	エンジンブーリー	1	
7	VLB034	Vベルト LB-34	1	
8	VLB030	Vベルト LB-30	1	
9	HL7442070000	エンジン取付ボルト	2	
10	WRA08	ヒラザガネ M8	4	
11	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	4	
12	NA08	ナット 4 2シュ M8	4	
13	HL2802220000	エンジンベース	1	
14	BA10090	ボルト 4.6 M10×90	4	
15	WRA10	ヒラザガネ M10	4	
16	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	4	
17	0020100010	ナット SS41 M10	4	
18	HL2802120200	ブーリー (カウンター出力)	1	
19	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	1	
20	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	1	
21	HL4232201100	座金	1	
22	J6204LLU	ボールベアリング 6204LLU	2	
23	KFC05050250	ヘイコウキー リョウマル 5×5×25	2	
24	HL2802120100	シャフト (カウンター)	1	
25	HL2802120000	ブーリー (カウンター入力)	1	
26	HL4232201100	座金	1	
27	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	1	
28	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	1	
29	NA08	ナット 4 2シュ M8	2	
30	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	1	
31	WRA08	ヒラザガネ M8	1	
32	HL2802120500	ロッド (スプリング)	1	
33	HL6062105000	引張スプリング	1	
34	DE012	Eガタトメワ 12	1	
35	HL6066110000	テンションブーリー 55T1本掛	1	
36	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	1	
37	BA06014	ボルト 4.6 M6×14	1	
38	HL2804060100	エキスピッシュンタンク	1	
39	BA06020	ボルト 4.6 M6×20	2	
40	WRA06	ヒラザガネ M6	4	
41	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	2	
42	NA06	ナット 4 2シュ M6	2	
43	HL0500003002	B型バンド φ25	2	
44	HL2804060000	ホース (HST)	1	
45	HL6396550000	クランプ 1698 穴付	1	
46	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	1	
47	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	1	
48	HL2804060300	オス90° ホースコネクター	1	
49	HL2804060200	SAE Oリングボスマスコネクター	1	
50	HL6062370000	ベルトオサエ	2	
51	WRA08	ヒラザガネ M8	1	
52	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	1	
53	BA08020	ボルト 4.6 M8×20	1	
54	BA08025	ボルト 4.6 M8×25	4	
55	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	4	

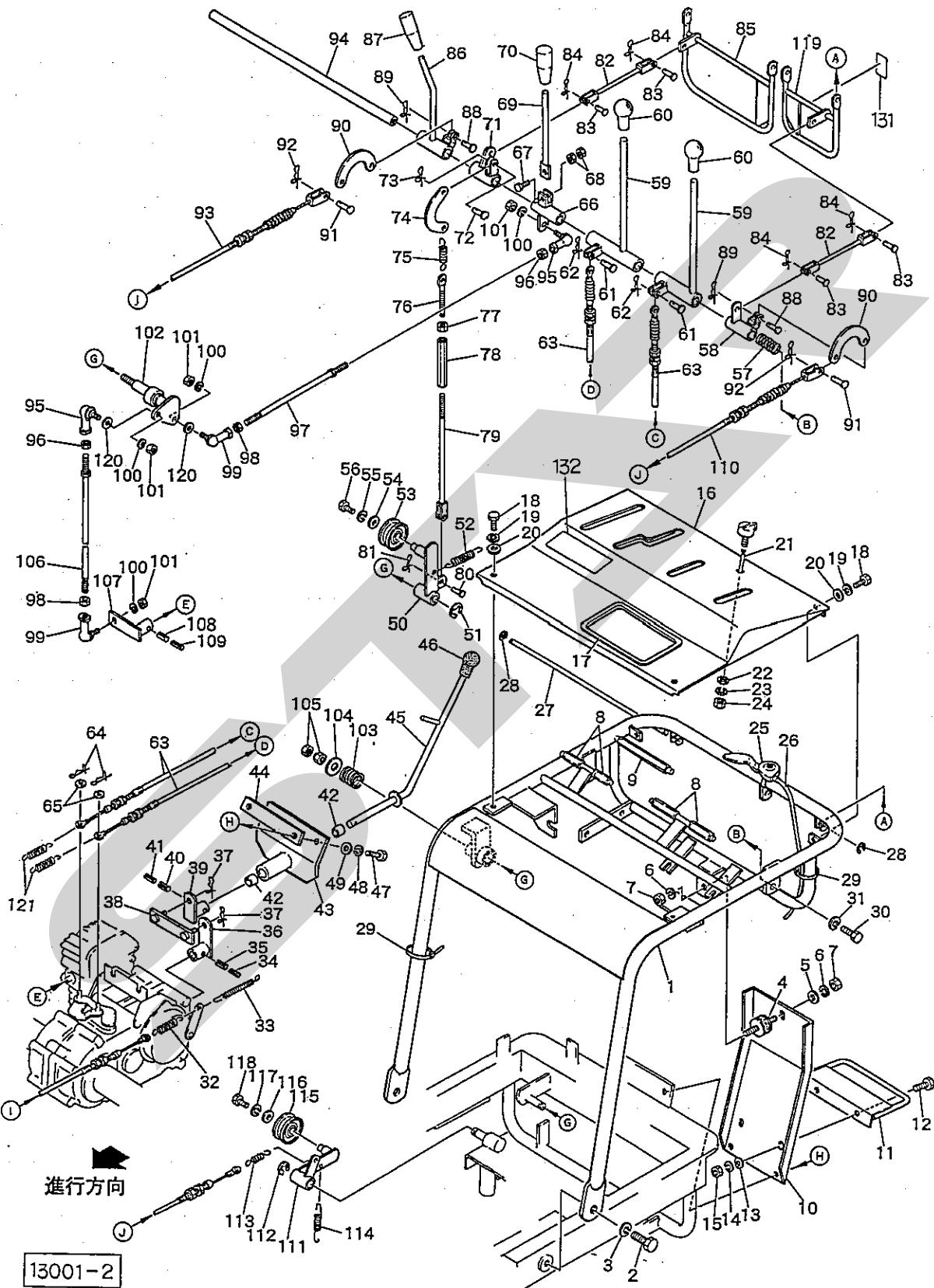
JXS0510 ミキシングスプレッダ  
デンタツ



13000-1



JXS0510 ミキシングスプレッダ  
ソウサ

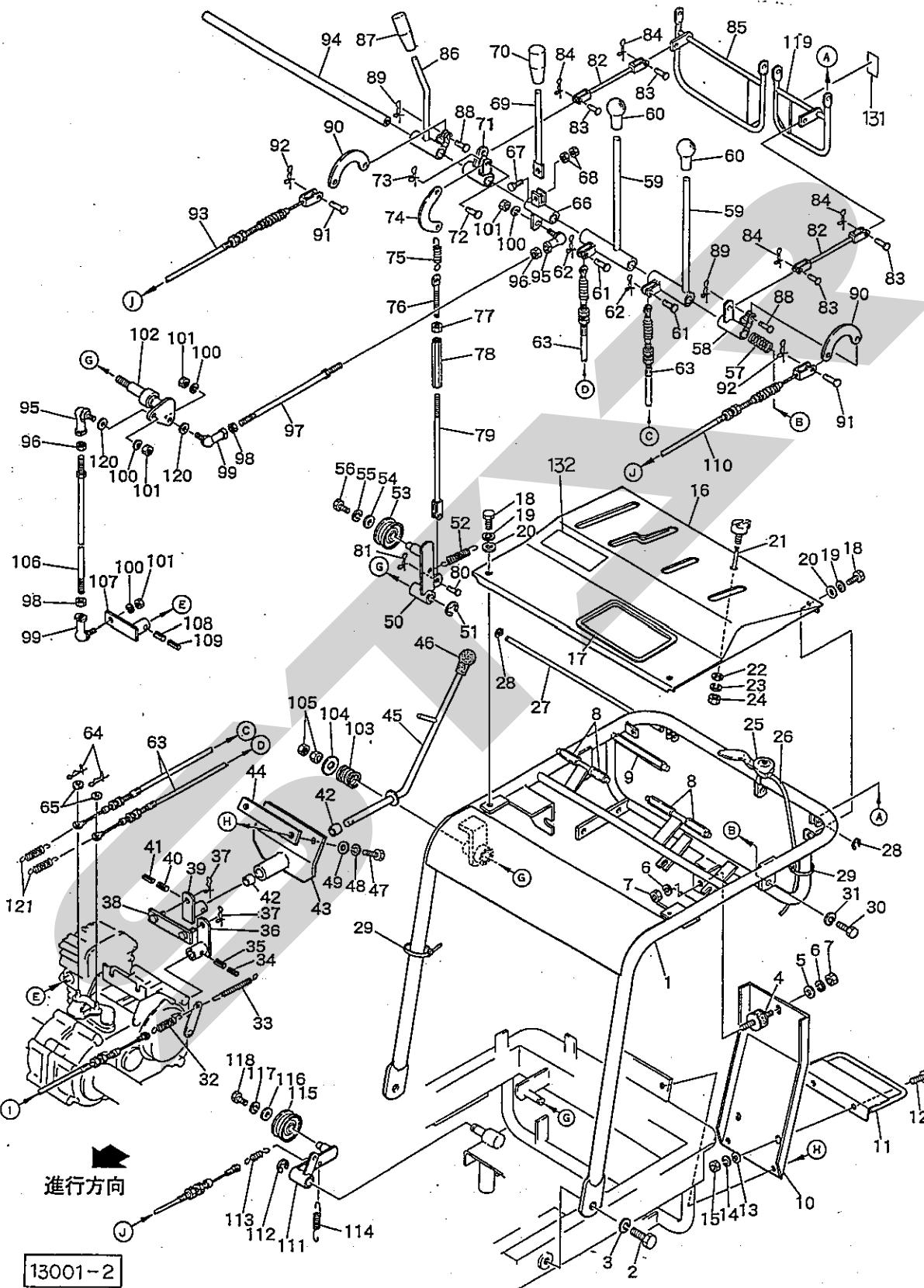


13001-2

JXS0510 ミキシングスプレッダ  
ソウサ

部品番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	HL2806020000	ハンドル	1	
2	BA10025	ボルト 4.6 M10×25	2	
3	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	2	
4	HL7906204000	防振ゴム	1	
5	WRA10	ヒラザガネ M10	1	
6	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	2	
7	NA10	ナット 4 2シュ M10	2	
8	HL6085007095	ゴムホース φ9.5×50	4	
9	HL6085007095	ゴムホース φ9.5×130	1	
10	HL0856020800	ステー (ハンドル)	1	
11	HL0856020900	ガイドバン (チェンジ)	1	
12	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	2	
13	WRA08	ヒラザガネ M8	2	
14	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
15	NA08	ナット 4 2シュ M8	2	
16	HL0896020100	プレート (レバーガイド)	1	
17	HL362-01984	トリム (62-16-B-5)	1	
18	BA06012	ボルト 4.6 M6×12	4	
19	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	4	
20	HL6066070000	平座金	4	
21	HL0852260100	ハーネス (E/Gストップスイッチ)	1	
22	WRA08	ヒラザガネ M8	7	
23	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	7	
24	NAC08	ナット 4 3シュ M8	1	
25	HL6066132000	スロットルレバー	1	
26	HL6066043000	スロットルA (27R031S)	1	
27	HL2806420200	シャフト	1	
28	DE004	Eガタトメワ 4	2	
29	HL0329060000	インシュロックタイ RT60S160	5	
30	BA08016	ボルト 4.6 M8×16	2	
31	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
32	HL6062105000	スプリング	1	
33	HL6062104000	スプリング	1	
34	PS030025W	スプリングピン ダブルヨウ 3×25	1	
35	PS050025W	スプリングピン ダブルヨウ 5×25	1	
36	HL0890120000	リンクA (チェンジ)	1	
37	HL0031199008	ストッパー松葉ピン φ8用	2	
38	HL0890120400	ロッド (チェンジ)	1	
39	HL0890120300	リンクB (チェンジ)	1	
40	PS050025W	スプリングピン ダブルヨウ 5×25	1	
41	PS030025W	スプリングピン ダブルヨウ 3×25	1	
42	MB1415DU	ドライバーリング MB1415DU	2	
43	HL0850120900	プラケット (チェンジ)	1	
44	HL0850121000	スペーサ (チェンジ)	1	
45	HL0850120800	レバー (チェンジ)	1	
46	HL036030000	グリップ φ14用 黒	1	
47	BA08030	ボルト 4.6 M8×30	2	
48	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	2	
49	WRA08	ヒラザガネ M8	2	
50	HL0896020900	テンションアーム (走行)	1	
51	DE012	Eガタトメワ 12	1	
52	HL6062104000	スプリング	1	
53	HL6066110000	テンションプーリー 55T 1本掛	1	
54	HL6066070000	平座金	1	
55	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	1	

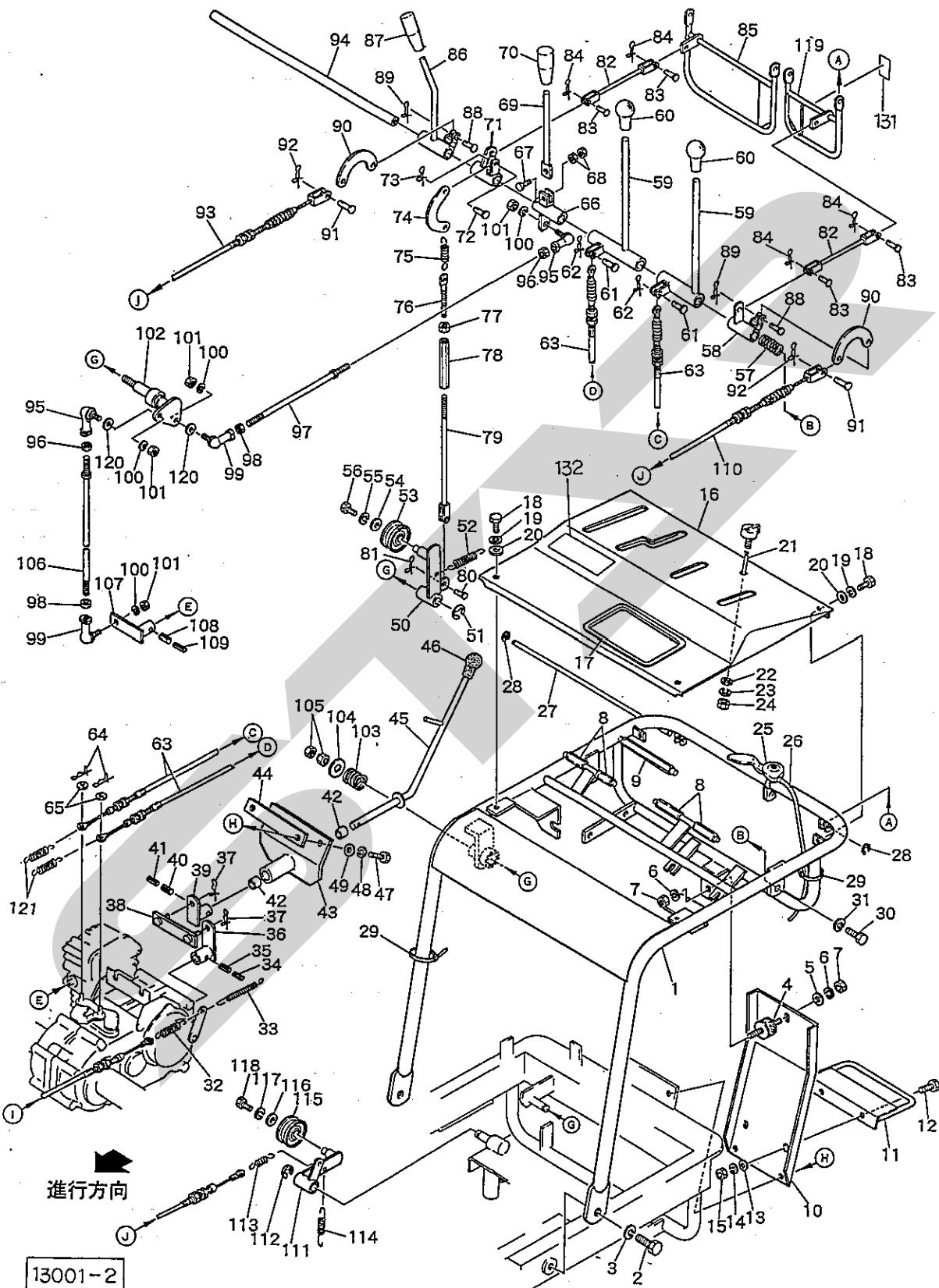
JXS0510 ミキシングスプレッダ  
ソウサ



JXS0510 ミキシングスプレッダ  
ソウサ

見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
56	BA06014	ボルト 4.6 M6×14	1	
57	HL8082100000	スプリング	1	
58	HL2086420300	リンク (スプレッダ)	1	
59	HL0856020300	レバー (サイドクラッチ)	1	
60	HL6066030030	グリップ φ12 (黒)	2	
61	HL6066080000	平頭ピン 6×19 (15)	2	
62	HL0031199006	ストッパー付松葉ピン φ6用	2	
63	HL0856060000	サイドクラッチワイヤー	2	
64	HL0031199006	ストッパー付松葉ピン φ6用	2	
65	WRA06	ヒラザガネ M6	2	
66	HL0896020300	リンクA (HST)	1	
67	BZ06030	ボルト 8.8 M6×30	1	
68	NA06	ナット 4 2シュ M6	2	
69	HL0896020200	レバー (HST)	1	
70	HL6066030010	グリップ φ9.5用 (黒)	1	
71	HL0896420000	リンク (バックストップ)	1	
72	HL6066080000	平頭ピン 6×19 (15)	1	
73	HL0031199006	ストッパー付松葉ピン φ6用	1	
74	HL2737220010	ワイヤカケ	1	
75	HL6062105000	スプリング	1	
76	HL7252221000	スプリングカケ金具	1	
77	NA08	ナット 4 2シュ M8	1	
78	HL6066530100	タンパッフル	1	
79	HL0896020800	ロッド (テンション)	1	
80	HL6066080000	平頭ピン 6×19 (15)	1	
81	HL0031199006	ストッパー付松葉ピン φ6用	1	
82	HL0856420100	ロッド (セーフティ)	2	
83	HL6066080000	平頭ピン 6×19 (15)	4	
84	HL0031199006	ストッパー付松葉ピン φ6用	4	
85	HL2806420000	レバー (走行クラッチ)	1	
86	HL0936020700	レバー (ブレーキ)	1	
87	HL6066030010	グリップ φ9.5用 (赤)	1	
88	HL6066080000	平頭ピン 6×19 (15)	1	
89	HL0031199006	ストッパー付松葉ピン φ6用	1	
90	HL2737220010	ワイヤカケ	1	
91	HL6066080000	平頭ピン 6×19 (15)	1	
92	HL0031199006	ストッパー付松葉ピン φ6用	1	
93	HL0856060200	ブレーキワイヤー	1	
94	HL6502150000	レバーシャフト	1	
95	HL7876410000	ロットエンド BL8D	2	
96	NA08	ナット 4 2シュ M8	2	
97	HL0896020400	ロッドA (HST)	1	
98	NA08L	ナット 4 2シュ L M8	2	
99	HL7876410010	ロットエンド BL8DL	2	
100	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	4	
101	NA08	ナット 4 2シュ M8	4	
102	HL2806020200	リンクB (HST)	1	
103	HL2806020300	スプリング	1	
104	HL6060201000	座金	1	
105	HL02852212	ハードロックナット M12	1	
106	HL0896020600	ロッドB (HST)	1	
107	HL2806020400	アーム (HST)	1	
108	PS050025W	スプリングピン ダブルヨウ 5×25	1	
109	PS030025W	スプリングピン ダブルヨウ 3×25	1	
110	HL2806060001	ワイヤー (スプレッダ)	1	

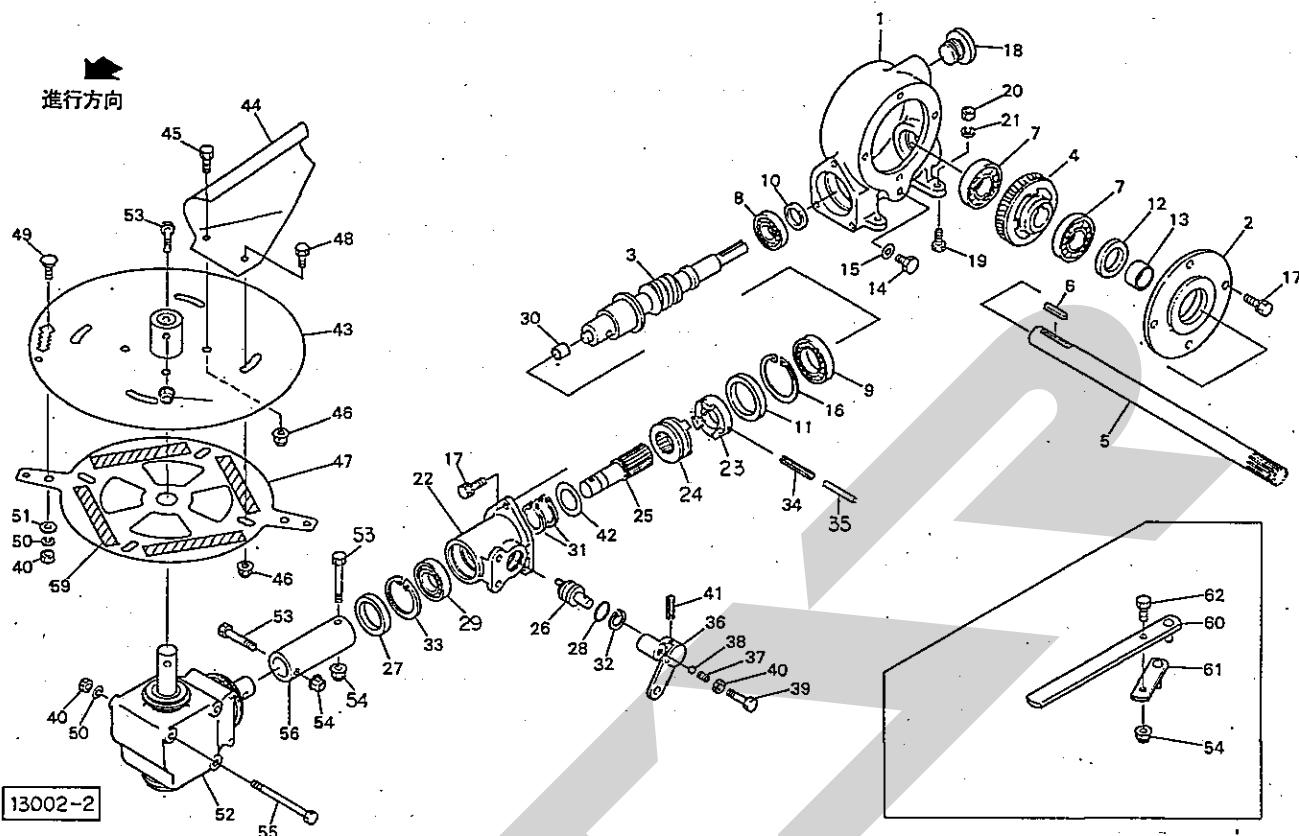
JXS0510 ミキシングスプレッダ  
ソウサ



13001-2



JXS0510 ミキシングスプレッダ  
ウォームギヤボックス・スピナ

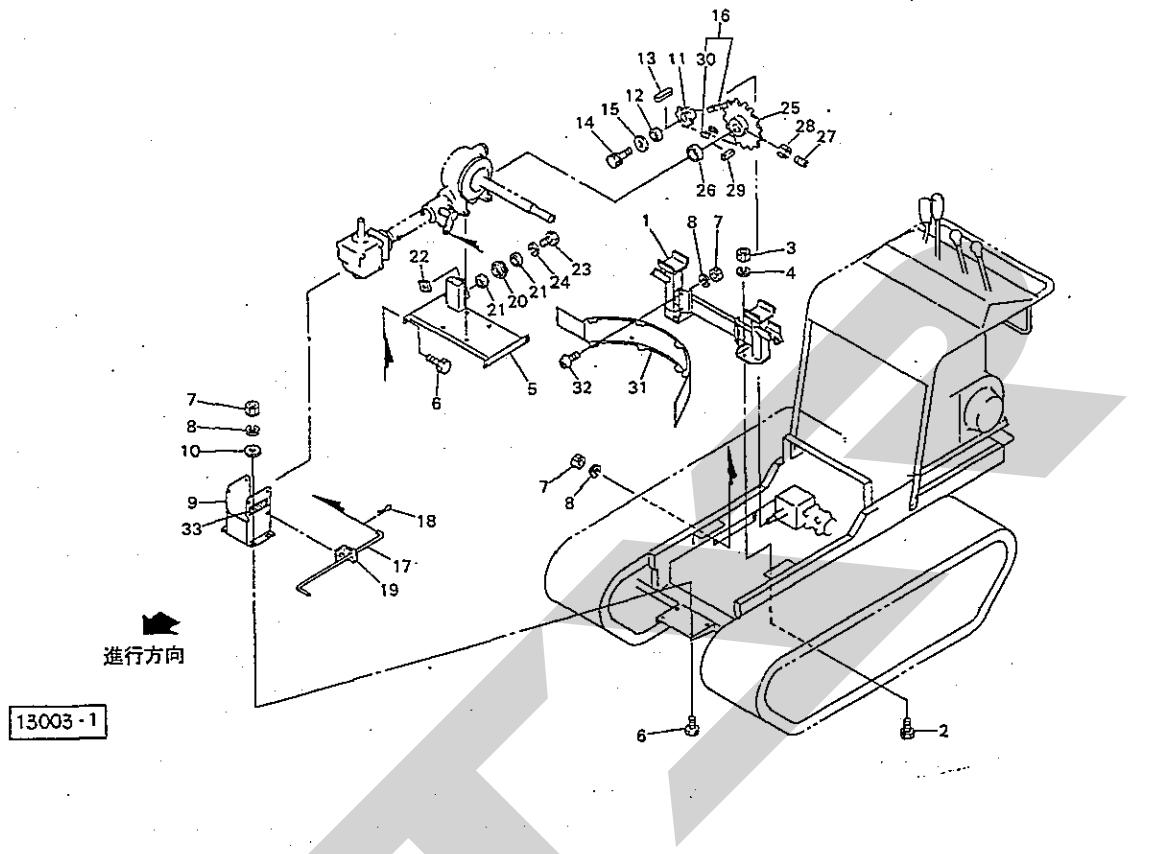


見出番号	部品番号	部品名 称	個数	備 考
1	1155450004	ウォームボックス	1	
2	1135880004	キャップ	1	
3	1216760002	ウォームCP	1	
4	1136120002	ウォームホイール	1	
5	1213380002	シャフト	1	
6	KFC08070450	ヘイコウキー リョウマル 8×7×45	1	
7	J6206	ボールベアリング 6206	2	
8	J6204	ボールベアリング 6204	1	
9	J6007	ボールベアリング 6007	1	
10	D20357	オイルシール D20×35×7	1	
11	D356210	オイルシール D35×62×10	1	
12	D35507	オイルシール D35×50×7	1	
13	SI303517	スリーブ 30×35×17 SI	1	
14	000338000M	プラグ;M10	1	
15	0003390000	M10 パッキン	1	
16	DHC062	Cガタメワ アナ 62	1	
17	BSPZ08025	コガタSWソキボルト 7 M8×25	7	
18	0007170000	チュウエセン;23	1	
19	BSZ08030	コガタボルト 7 M8×30	4	
20	NSZ08	コガタナット 8 2シュー M8	4	
21	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	4	
22	1137210004	クラッチケース	1	
23	1216740002	クラッチ;1	1	
24	1136190002	クラッチ;2	1	
25	1216960002	シャフト	1	



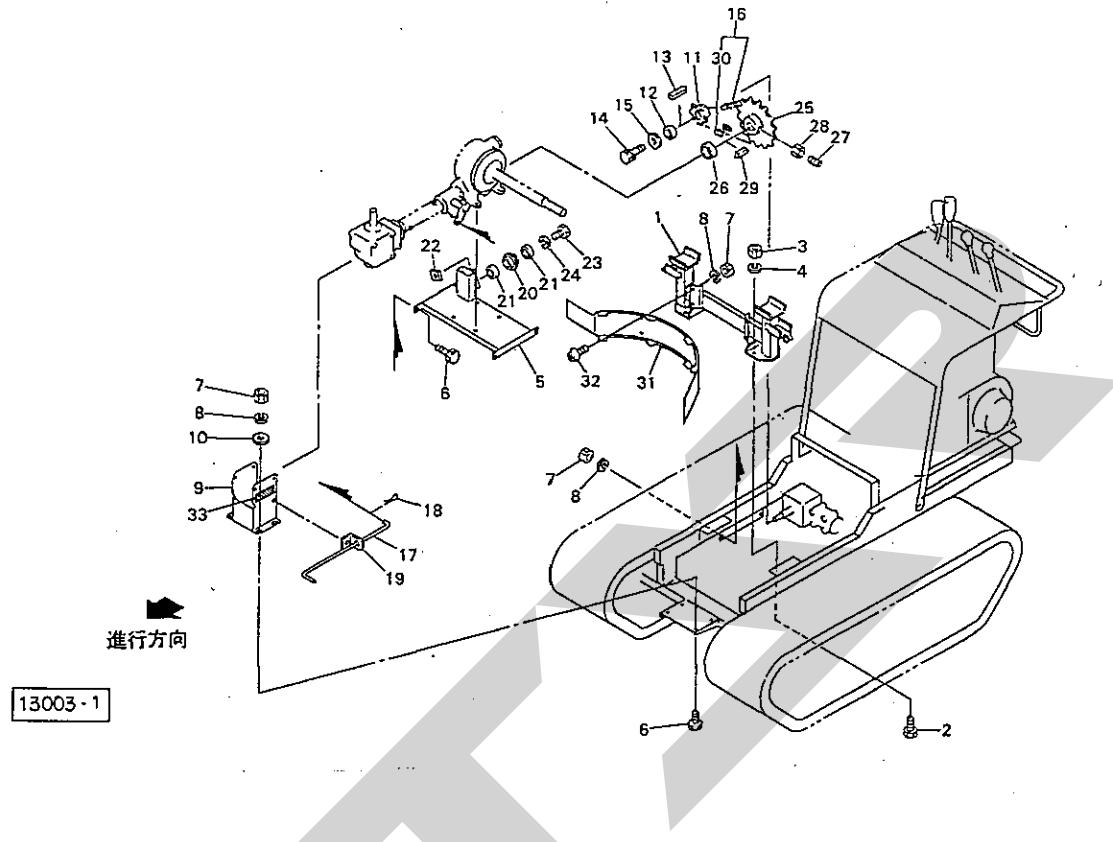
# JXS0510 ミキシングスプレッダ

JXSパーツ



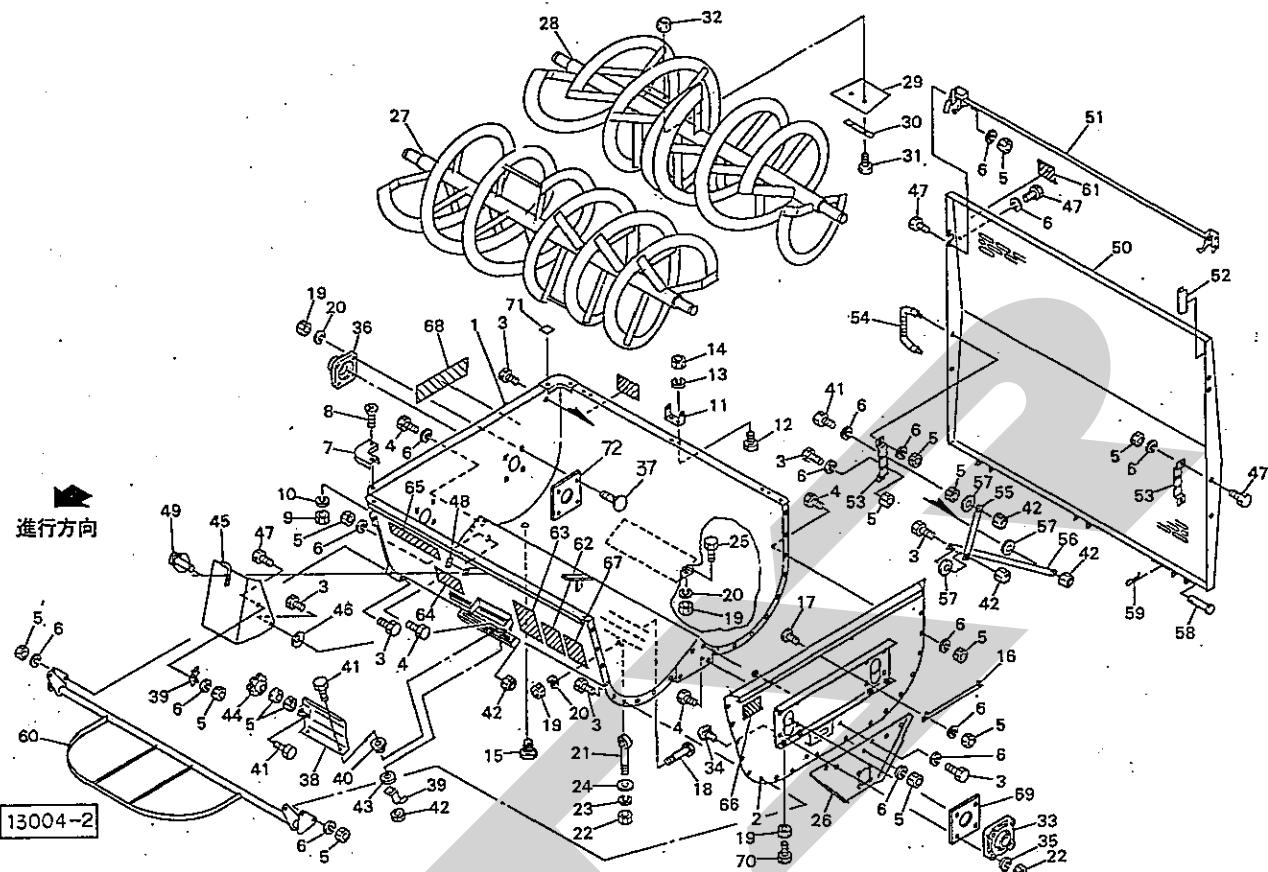
品番	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1136810004	フレームCP	1	
2	BSZ10025	コガタボルト 7 M10×25	4	
3	NSZ10	コガタナット 8 2シュ M10	4	
4	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	4	
5	1162350004	ウォームベースCP	1	
6	BSZ08020	コガタボルト 7 M8×20	8	
7	NSZ08	コガタナット 8 2シュ M8	12	
8	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	12	
9	1136790004	チャンネル	1	
10	044097200M	ワッシャ;8	4	
11	1136220004	スプロケット;14T	1	
12	113742000M	カラー;19.4×8	1	
13	KFB05050190	ヘイコウキー カタマル 5×5×19	1	
14	BSPY08020	コガタSWソキボルト 7 M8×20	1	
15	080414100M	ワッシャ;8	1	
16	LA40042	ローラチェーン 40×42L	1	
17	113773000M	ロッド	1	
18	PC032020	ワリピン 3.2×20	1	
19	113774000M	アングル	1	
20	1050410000	テンションローラCP	1	
21	105971000M	カラー;12.2×4.5	2	
22	100071000M	ナット	1	
23	BZ12045	ボルト 8.8 M12×45	1	
24	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	1	
25	1155720004	スプロケット;28T	1	

JXS0510 ミキシングスプレッダ  
JXSパーツ



部品番号	部品番号	部品名称	個数	備考
26	115573000M	カラー; 16.1×10	1	
27	TRK06020	6トメネジ クボミ M6×20	2	
28	NZ06	ナット 8 2ショ M6	2	
29	KFD05050230	ヘイコウキー リョウヒラ 5×5×23	1	
30	AA040	ツギテ 40	1	
31	1137410000	ガード	1	
32	CP08016	+ナベコネジ M8×16	4	
33	1145090000	ラベル; イリキリ	1	

JXS0510 ミキシングスプレッダ  
ホッパ・オーガ

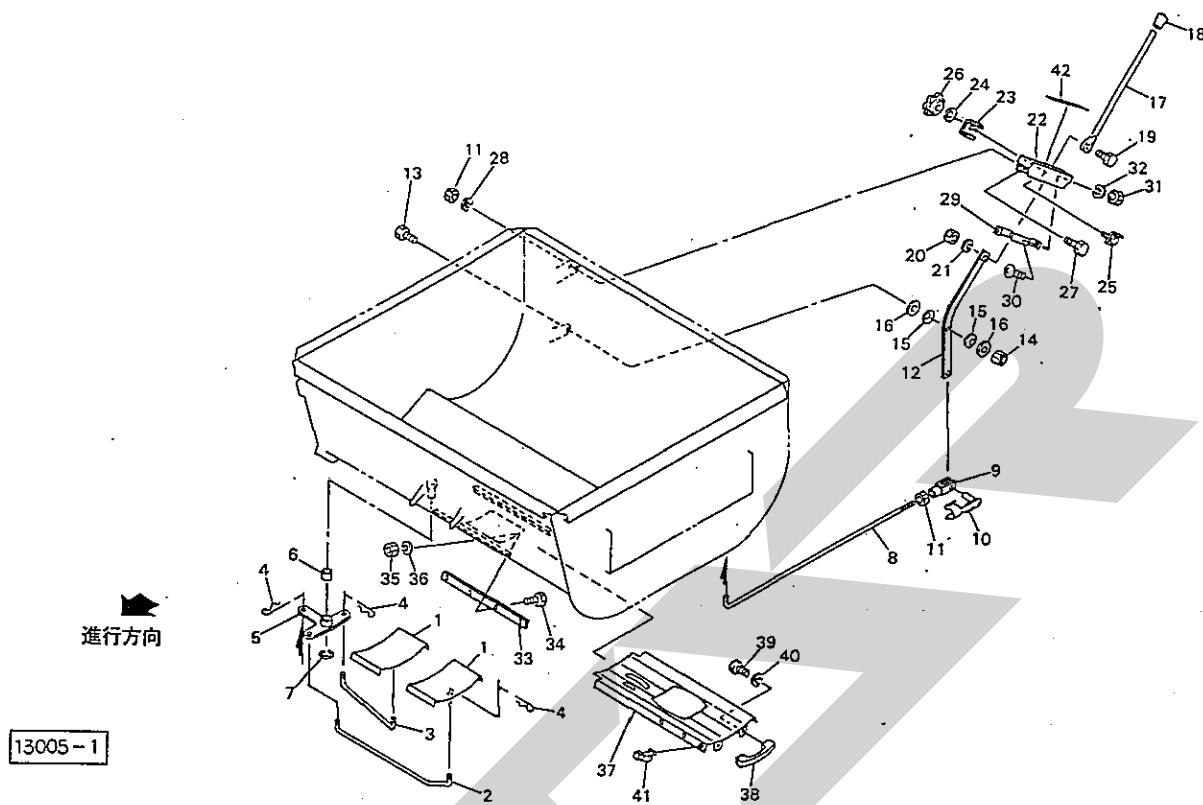


品番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1138083003	ホッパCP	1	
2	1216790000	サイドプレートCP	1	
3	BSZ08020	コガタボルト 7 M8×20	20	
4	BSZ08016	コガタボルト 7 M8×16	16	
5	NSZ08	コガタナット 8 2シュ M8	41	
6	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	43	
7	1139980003	エルボ	4	
8	CM04010	+サラコネジ M4×10	8	
9	NA04	ナット 4 2シュ M4	8	
10	WS04	バネザガネ 2ゴウ M4	8	
11	113902000M	チャンネル	3	
12	BZ06012	ボルト 8.8 M6×12	6	
13	NZ06	ナット 8 2シュ M6	6	
14	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	6	
15	0007170000	注油栓;23 樹脂	1	
16	114031000M	ステーCP	1	
17	CP08016	+ナベコネジ M8×16	2	
18	BSZ10055	コガタボルト 7 M10×55	2	
19	NSZ10	コガタナット 8 2シュ M10	16	
20	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	12	
21	024049000M	アイボルト	2	
22	NZ12	ナット 8 2シュ M12	10	
23	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	2	
24	040608401M	ワッシャ;12	2	
25	BSZ10025	コガタボルト 7 M10×25	2	

JXS0510 ミキシングスプレッダ  
ホッパ・オーガ

部品番号	部品番号	部品名称	個数	備考
26	1213480003	チャンネル	1	
27	1135690003	オーガCP;1	1	
28	1135700003	オーガCP;2	1	
29	1135850000	スクレーパ	2	
30	116229000M	プレート	2	
31	BC08025	ボルト ステン M8×25	4	
32	NNC08	ナイロンナット ステン M8	4	
33	JUCF207D1	ベアリングユニット UCF207D1	2	
34	BR12045	カクネマルB M12×45	8	
35	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	8	
36	1164760003	ベアリング SM-UCF206D1	2	
37	043067900M	カクネボルト M10×30	8	
38	1161510000	ハイシュツシャッタCP	1	
39	044086201M	ステー ホルダー	2	
40	0907510000	カラー	2	
41	BSZ08030	コガタボルト 7 M8×30	5	
42	NNF08	フランジナイロンナット M8	10	
43	080414100M	ワッシャ;8	2	
44	0442890000	ニギリ;M8	1	
45	1139300000	シュー	1	
46	WCR1L08	サラバネザガネ 1シュー ケイ M8	2	
47	BSZ08016	コガタボルト 7 M8×16	9	
48	1140860000	クッションゴム	1	
49	000738000M	リンチピン;6	1	
50	1162670003	カバーCP	1	
51	116275000M	カバーロックCP	1	
52	1162980000	レギュラートリム	2	
53	116272000M	ステーウケ	2	
54	0333782000	グリップ	1	
55	116273000M	ステー;1	2	
56	116274000M	ステー;2	2	
57	WRA08	ヒラザガネ M8	6	
58	085743100M	ピン	3	
59	PC032020	ワリピン 3.2×20	3	
60	1139310000D	スピナガードCP	1	
61	1061690000	ラベル;ケイク 6	1	
62	1064180000	ラベル;ケイク 37	1	
63	1065270000	ラベル;ケイク 113	1	
64	1145100000	ラベル;ブレードカクドショウセツ	1	
65	0008360000	STARマークラベル;40 (白)	1	
66	1147381000	ラベル;サイダイセキサイリョウ	1	
67	1065280000	ラベル;ケイク 114	1	
68	1180920000	ラベル;ユウキ君	1	
69	117899000M	プレート	2	
70	BSZ10045	コガタボルト 7 M10×45	4	
71	1179760000	エンビプレート	2	
72	1213360000	プレート	2	

JXS0510 ミキシングスプレッダ  
シャッタ

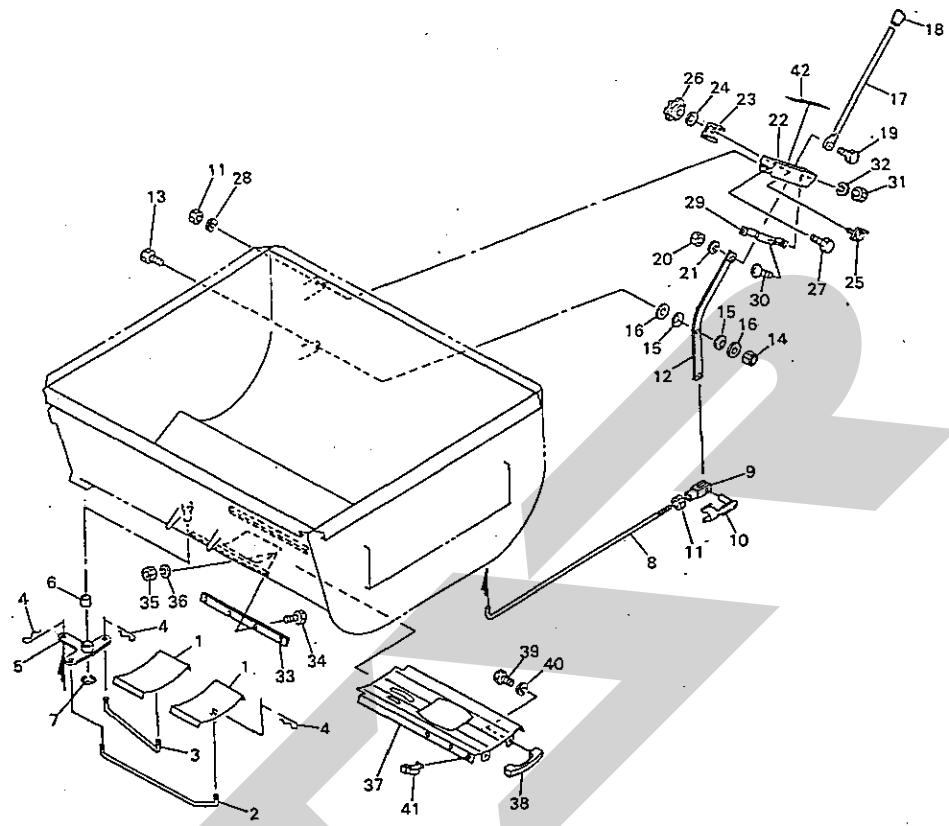


見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1136730000	シャッタCP	2	
2	113678000M	ロッド;1	1	
3	113680000M	ロッド;2	1	
4	000085200M	ベータピン;8×1.6	5	
5	113866000M	シャッタアームCP	1	
6	KBB-1815A	カーボンドライベアリング A 18×15	1	
7	DE012	Eガタトメワ - 12	1	
8	113695000M	ロッド;3	1	
9	079422000M	フォークエンド;10×40	1	
10	079423000M	ピン;10×40	1	
11	NSZ10	コガタナット 8 2シュ M10	3	
12	113676000M	アームCP	1	
13	BSZ10035	コガタボルト 7 M10×35	1	
14	NNF10	フランジナイロンナット M10	1	
15	WCR1L10	サラバネザガネ 1シュ ケイ M10	2	
16	WRA10	ヒラザガネ M10	2	
17	092285300M	レバーCP;A	1	
18	0006880000	ニギリ;20	1	
19	BZ12045	ボルト 8.8 M12×45	1	
20	NA12	ナット 8 2シュ M12	1	
21	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	1	
22	113747000M	セクター	1	
23	113873000M	チャンネル	1	
24	WCR1L12	サラバネザガネ 1シュ ケイ M12	1	
25	084698200M	プレートCP	1	

JXS0510 ミキシングスプレッダ  
シャッタ

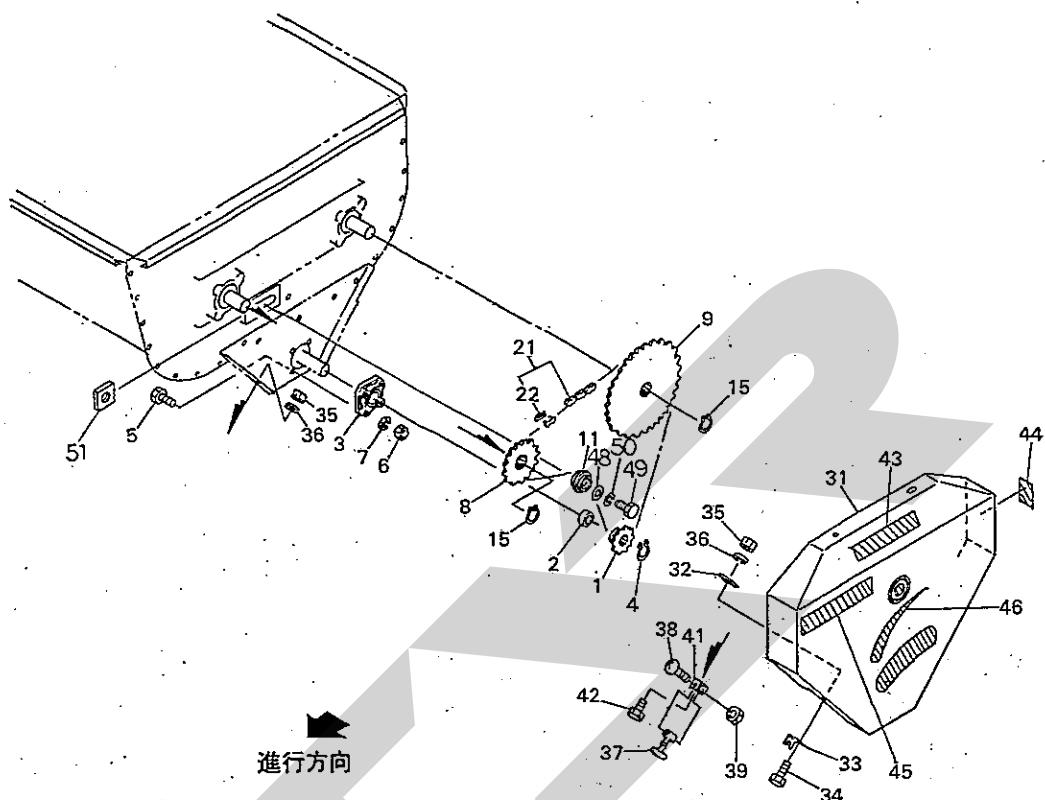
進行方向

13005-1



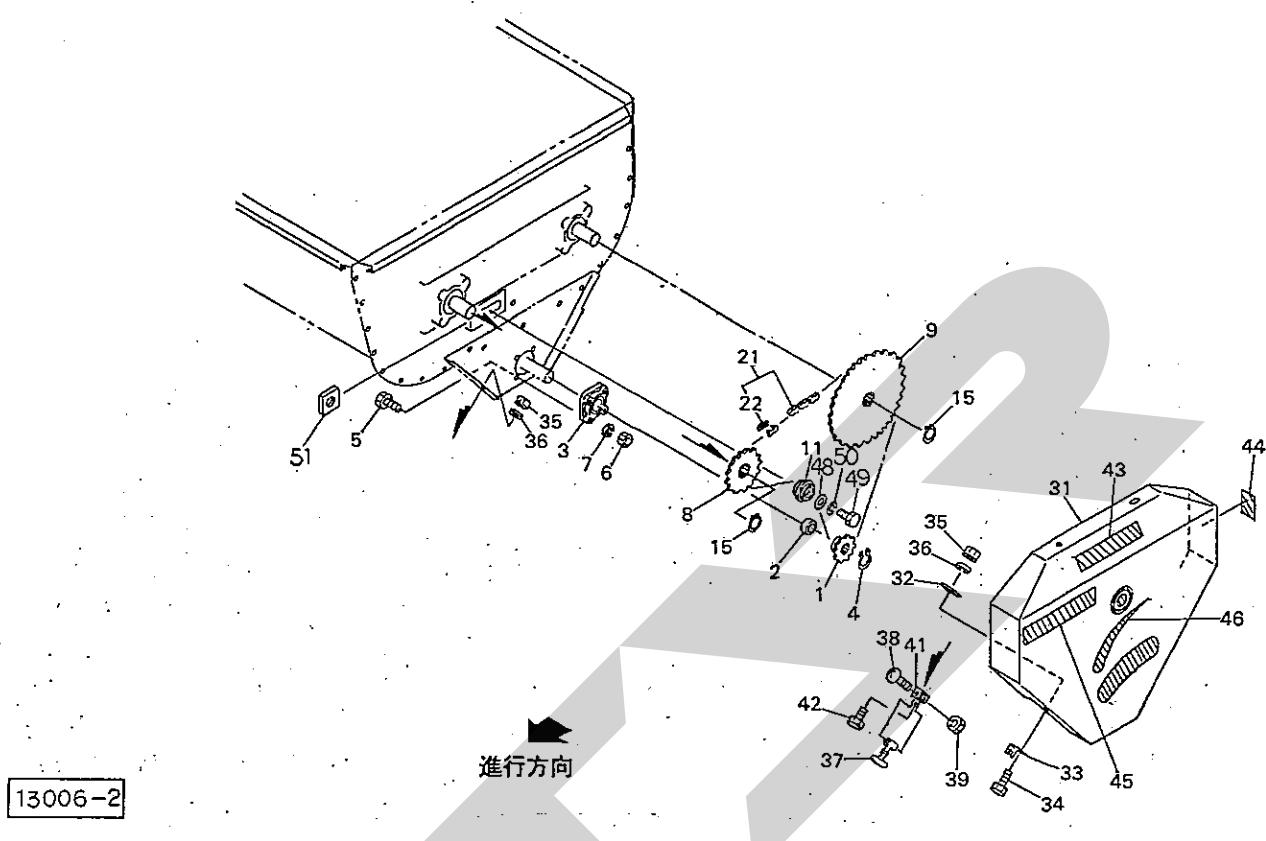
部品番号	部品番号	部品名稱	個数	備考
26	0006910000	ニギリ;M12	1	
27	BSZ10025	コガタボルト 7 M10×25	2	
28	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	2	
29	084696300M	スプリング	1	
30	CP06016	+ナベコネジ M6×16	2	
31	NZ06	ナット 8 2シュ M6	2	
32	WS06	バネザガネ 2ゴウ M6	2	
33	1136960000	プレート	2	
34	BC08030	ボルト ステン M8×30	8	
35	NS08	ナット ステン 1シュ M8	8	
36	WSS08	バネザガネ ステン 2ゴウ M8	8	
37	1138710003	ボトムプレート	1	
38	1138720000	ニギリ	1	
39	BC06010	ボルト ステン M6×10	2	
40	WSS06	バネザガネ ステン 2ゴウ M6	2	
41	000453000M	デルタピン;9	1	
42	1149190000	マーク;カイドチョウセツ	1	

JXS0510 ミキシングスプレッダ  
クドウ・サイドカバー



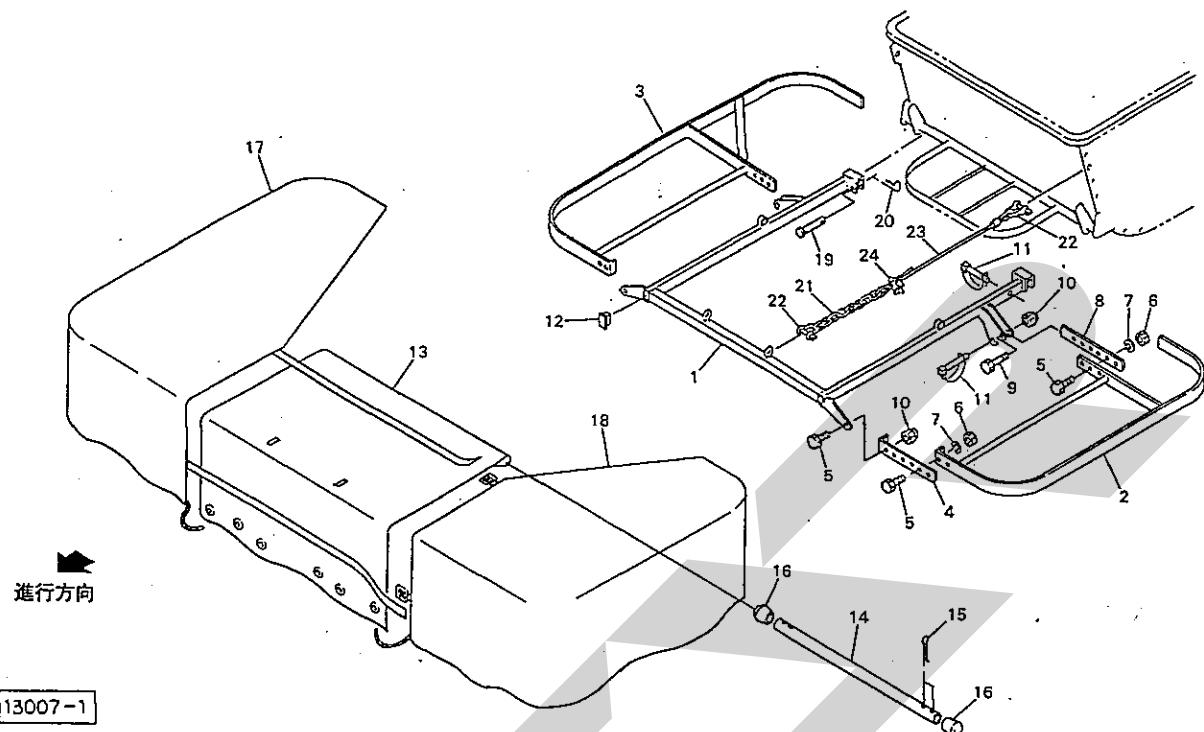
品番	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1213400004	スプロケット; 10T	1	
2	066871100M	カラー	1	
3	JUCF206D1	ペアリングユニット UCF206D1	1	
4	DC030	Cガタトメワ ジク 30	1	
5	BSZ10030	コガタボルト 7 M10×30	4	
6	NSZ10	コガタナット 8 2シュ M10	4	
7	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	4	
8	1136250003	スプロケット; 20T	1	
9	1136260003	スプロケット; 40T	1	
11	081267000M	テンションローラCP	1	
15	DC035	Cガタトメワ ジク 35	2	
21	LA60094	ローラチェーン 60×94L	1	
22	AA060	ツギテ 60	1	
31	1136350003	カバーCP	1	
32	114109000M	プレート	2	
33	043000400M	カバーロック (1)	2	
34	BSZ08020	コガタボルト 7 M8×20	2	
35	NSZ08	コガタナット 8 2シュ M8	4	
36	WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8	4	
37	0665561000	ボンネットキャッチ	2	
38	CP06035	+ナベコネジ M6×35	2	
39	NNF06	フランジナイロンナット M6	2	
41	043001401M	カバーロック (2)	2	
42	BSZ08016	コガタボルト 7 M8×16	2	
43	0008360000	STARマークラベル; 40 (シロ)	1	

JXS0510 ミキシングスプレッダ  
クドウ・サイドカバー



部品番号	部品名	名称	個数	備考
44	1061710000	ラベル;ケイコク 8	1	
45	1150820000	ラベル;ユウキ君	1	
46	1180930000	ラベル;太陽	1	
48	042783600M	ワッシャ;12	1	
49	BZ12050	ボルト 8.8 M12×50	1	
50	WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12	1	
51	100071000M	ナット	1	

# ACV0500 キャンバスカバーアタッチメント



部品番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	1147750004	メインフレームCP	1	
2	1147590004	フレームCP;L	1	
3	1147630004	フレームCP;R	1	
4	1147120004	アングル	2	
5	BSZ10025	コガタボルト 7 M10×25	10	
6	NSZ10	コガタナット 8 2シュ M10	8	
7	WSA10	バネザガネ 3ゴウ M10	8	
8	1147130004	プレート	2	
9	BSZ10040	コガタボルト 7 M10×40	2	
10	NNF10	フランジナイロンナット M10	4	
11	000453000M	デルタピン;9	4	
12	CAP040020	クリップ 40×20×1.6	2	
13	1147100000	キャンバス;B	1	
14	1147820004	パイプ	1	
15	PC050036	ワリpin 5×36	4	
16	1147950000	クリップ	2	
17	1147090000	キャンバス;A	1	
18	1147110000	キャンバス;C	1	
19	000058200M	pin;B 10×50	2	
20	000085200M	ベータpin;8×1.6	2	
21	CZ050006	リンクチェーン ザシヨウ 5×27.5P×6	2	
22	SSC0620	シャックル 6-1/4	4	
23	1147710000	ワイヤCP	2	
24	0653191000	ワイヤクリップ	2	







本 社 066-8555 千歳市上長都1061番地2  
TEL 0123-26-1123  
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8555 千歳市上長都1061番地2  
TEL 0123-22-5131  
FAX 0123-26-2035

旭川営業所 070-8004 旭川市神楽4条9丁目3番35号  
TEL 0166-61-6131  
FAX 0166-62-8985

豊富営業所 098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地  
TEL 0162-82-1932  
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西22条北1丁目12番地  
TEL 0155-37-3080  
FAX 0155-37-5187

北見営業所 090-0001 北見市小泉302  
TEL 0157-24-3880  
FAX 0157-61-1344

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町2丁目16番2  
TEL 01537-2-2624  
FAX 01537-3-2540

花巻営業所 025-0312 岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1  
TEL 0198-26-5741  
FAX 0198-26-5746

仙台営業所 985-0845 宮城県多賀城市町前2丁目4番27号  
TEL 022-367-4573  
FAX 022-367-4846

小山営業所 323-0158 栃木県小山市梁2512-1  
TEL 0285-49-1500  
FAX 0285-49-1560

名古屋営業所 480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191  
TEL 0587-93-6888  
FAX 0587-93-5416

松本出張所 399-0033 長野県松本市大字笹賀5824-5  
TEL 0263-26-5731  
FAX 0263-26-5761

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市下中野704-103  
TEL 086-243-1147  
FAX 086-243-1269

熊本営業所 862-0939 熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号  
TEL 096-381-7222  
FAX 096-384-3525

都城営業所 885-0004 宮崎県都城市都北町3537-1  
TEL 0986-38-1045  
FAX 0986-38-4644